

三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事

設計図 総数 36枚 原図 A3

建 築 意 匠 図		電 気 設 備 図		機 械 設 備 図	
A-00	図面リスト	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)
A-01	特記仕様書(1)	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)
A-02	特記仕様書(2)	E-03	電気設備工事特記仕様書(3)	M-03	空調換気設備 凡例・機器表
A-03	特記仕様書(3)	E-04	トレーニングルーム 電灯設備図	M-04	空調設備 3階平面図
A-04	特記仕様書(4)	E-05	トレーニングルーム コンセント設備図	M-05	空調設備 R階平面図
A-05	配置図・仮設計図	E-06	トレーニングルーム 弱電設備図	M-06	空調設備 平面詳細図(改修後)
A-06	仕上表・建具表・家具詳細図	E-07	トレーニングルーム 空調電源設備図	M-07	空調設備 平面詳細図(改修前)
A-07	3階平面図(改修前)	E-08	シャワー室 電灯・コンセント設備図	M-08	換気設備 平面詳細図(改修後)
A-08	3階平面図(改修後)	E-09	シャワー室 拡声設備図	M-09	換気設備 平面詳細図(改修前)
A-09	トレーニングルーム平面詳細図(改修前)	E-10		M-10	衛生設備 平面詳細図(改修後)
A-10	トレーニングルーム平面詳細図(改修後)	E-11		M-11	衛生設備 平面詳細図(改修前)
A-11	トレーニングルーム展開図(改修前)	E-12		M-12	
A-12	トレーニングルーム展開図(改修後)	E-13		M-13	
A-13	シャワー室平面詳細図・展開図(改修前)	E-14		M-14	
A-14	シャワー室平面詳細図・展開図(改修後)	E-15		M-15	
A-15	天井伏図	E-16		M-16	
A-16	雑詳細図	E-17		M-17	
A-17		E-18		M-18	
A-18		E-19		M-19	
A-19		E-20		M-20	
建築意匠図 16枚		電気設備図 9枚		機械設備図 11枚	

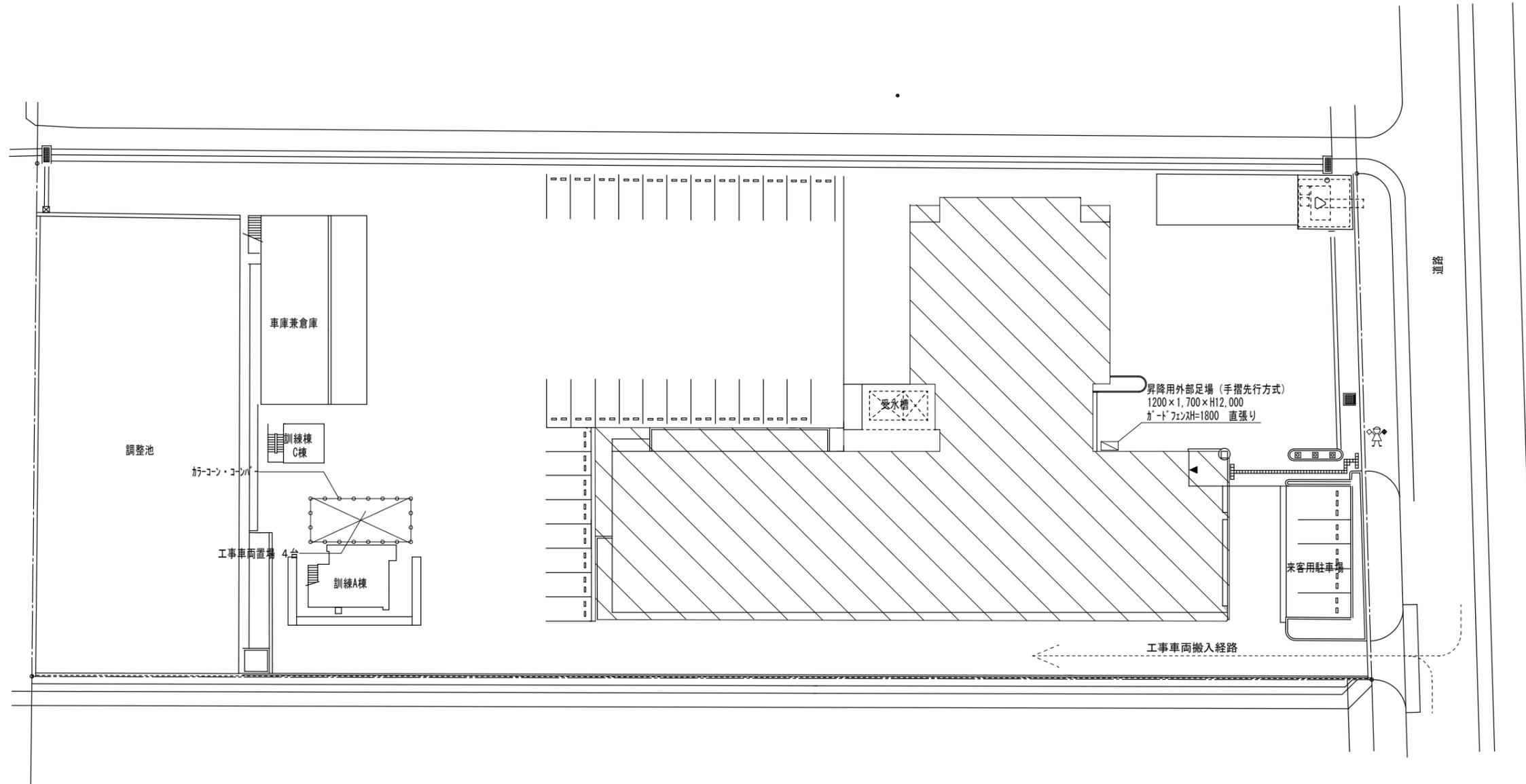
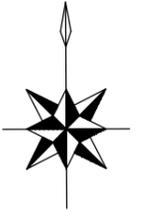
<p>⑤ 軽量鉄骨天井 地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)</p> <p>(6.6.4)</p>	<p>野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 () ○ 屋外 ○ 25形 ()</p> <p>形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) (表6.10.5) ~ ・ ふところ≧3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>既存埋込みインサート ○ 使用する ○ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ○ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (3箇所) ・ 確認強度 ()</p> <p>耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示 (図面番号:)</p>	<p>9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5) ~ (表6.10.8)</p> <p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)</p> <p>・ 釘留め工法</p> <table border="1" data-bbox="1246 241 1751 357"> <tr> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>○ なら</td> </tr> <tr> <td>○ 複合フローリング (直張用)</td> <td>○ A種 ○ B種 ○ C種</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 接着工法</p> <table border="1" data-bbox="1246 399 1840 504"> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用)</td> <td rowspan="3">・ なら ()</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック (直張用)</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (直張用)</td> </tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)</p>	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		○ なら	○ 複合フローリング (直張用)	○ A種 ○ B種 ○ C種	・ ()	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード (直張用)	・ なら ()			・ フローリングブロック (直張用)	・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種				<p>7 塗装 改修 工事</p>	<p>① 材料 (7.1.3)</p> <p>② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1" data-bbox="2151 210 2819 367"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	下地	種別	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種			・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種			・ 垂鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種			・ モルタル、プラスター面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う		・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う		・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う		○ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																																																							
材料	種別	樹種																																																																																																																																																							
・ フローリングボード (根太張用)		○ なら																																																																																																																																																							
○ 複合フローリング (直張用)	○ A種 ○ B種 ○ C種	・ ()																																																																																																																																																							
材種	樹種	厚さ	大きさ																																																																																																																																																						
・ フローリングボード (直張用)	・ なら ()																																																																																																																																																								
・ フローリングブロック (直張用)																																																																																																																																																									
・ 複合フローリング (直張用)																																																																																																																																																									
・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																									
種別	下地	種別	種別	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																					
・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																							
・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																							
・ 垂鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																							
・ モルタル、プラスター面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																						
・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																						
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																						
○ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																							
<p>⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p>	<p>スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示 (図面番号: A-10、16)</p> <p>○ 造音間仕切壁 吉野石膏 S12・W1 ランナー100 ｽﾀｯﾄﾞ75 造音認定: S01-0111 同等品</p> <p>材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1" data-bbox="341 483 875 556"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>無地</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>無地</td> <td>2.5mm</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	無地	2.0mm		FS	無地	2.5mm		<p>(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>③ 素地ごしらえ (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1) ~ (表7.3.7)</p>	<p>種別</p> <table border="1" data-bbox="2151 409 2730 567"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ A種 ○ B種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	・ 木部		・ A種 ・ B種	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	・ モルタル、プラスター面		・ A種 ・ B種	・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種 ・ B種	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種 ・ B種	○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種 ○ B種																																																																																																																
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																																																																																																						
FS	無地	2.0mm																																																																																																																																																							
FS	無地	2.5mm																																																																																																																																																							
種別	下地	種別																																																																																																																																																							
・ 木部		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																							
・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																							
・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																							
・ モルタル、プラスター面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																							
・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																							
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																							
○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種 ○ B種																																																																																																																																																							
<p>⑦ ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タ イル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)</p>	<p>・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1" data-bbox="341 588 964 661"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>KT</td> <td></td> <td></td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	KT			2.0mm		<p>(6.11.6)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3) ~ (表7.4.5)</p>	<p>錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p>																																																																																																																																										
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																					
KT			2.0mm																																																																																																																																																						
<p>(6.8.2)(2)</p> <p>(6.8.2)(3)(7)(4)</p>	<p>・ 制電防止床シート又は床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 693 964 766"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	性能	寸法	厚さ	備考						<p>11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑤ 合成樹脂調合ベ イント塗り(SOP) (7.5.3~7.5.4) (表7.5.1) ~ (表7.5.3)</p>	<p>塗料種別 ・ 1種 () 種別</p> <table border="1" data-bbox="2151 766 2493 840"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																														
種類	性能	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																					
種別	下地	種別																																																																																																																																																							
・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																							
・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																							
・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																							
<p>(6.8.2)(3)(7)(4)</p> <p>(6.8.2)(3)(7)(4)</p>	<p>・ 視覚障害者用床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 798 875 871"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>300×300×7.0mm</td> <td></td> </tr> </table>	種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm		<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑥ クリヤラッカー 塗り(OL) (7.6.2) (表7.6.1)</p>	<p>種別 木部 ・ A種 ○ B種</p>																																																																																																																																														
種類	形状	備考																																																																																																																																																							
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																																																																																																																																								
<p>(6.8.2)(3)(4)</p> <p>(6.8.2)(3)(4)</p>	<p>・ 耐動荷重性床シート</p> <table border="1" data-bbox="341 945 875 1018"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	厚さ	備考				<p>(6.13.3)(4)(7)</p> <p>(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑦ アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)</p>	<p>種別 ・ A種 ・ B種</p>																																																																																																																																														
種類	厚さ	備考																																																																																																																																																							
<p>(6.8.2)(3)(4)</p> <p>(6.8.2)(3)(4)</p>	<p>○ 防滑性床シート又は床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 1050 875 1123"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>無地</td> <td>2.5mm</td> <td></td> </tr> </table>	種類	寸法	厚さ	備考	FS	無地	2.5mm		<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑧ 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2) ~ (7.8.4) (表7.8.1) ~ (表7.8.3)</p>	<p>上塗り等級 ・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)</p> <table border="1" data-bbox="2151 1113 2567 1186"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	コンクリート面及び 押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																																																																																																						
種類	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																						
FS	無地	2.5mm																																																																																																																																																							
種別	下地	種別																																																																																																																																																							
コンクリート面及び 押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																																																																																																																							
<p>(6.8.2)(3)(4)</p> <p>(6.8.2)(3)(4)</p>	<p>・ ゴム床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 1155 964 1228"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	色柄	寸法	厚さ	備考						<p>(6.13.3)(4)(7)</p> <p>(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑨ つや合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G) (7.9.2) ~ (7.9.5) (表7.9.1) ~ (表7.9.4)</p>	<p>種別 木部 (屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面 (屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 垂鉛めっき鋼面 (屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種</p>																																																																																																																																										
種類	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																					
<p>(6.8.2)(5)</p> <p>(6.8.3)(1)</p> <p>(6.8.3)(2)(7)</p>	<p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1" data-bbox="341 1480 964 1554"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考						<p>(6.13.3)(4)(7)</p> <p>(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑩ 合成樹脂エマ ルジョンペイ ント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)</p>	<p>種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 しみ止め ()</p>																																																																																																																																										
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																					
<p>(6.8.3)(1)</p> <p>(6.8.3)(2)(7)</p> <p>8 カーペット敷き (6.9.2)(1) (表6.9.1)</p>	<p>○ 織じゅうたん</p> <table border="1" data-bbox="341 1365 1038 1438"> <tr> <th>種類</th> <th>糸の種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>制電性</th> <th>品質の程度</th> <th>色柄</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 羊毛</td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 人体制電圧 3KV以下</td> <td>・ ()</td> <td>・ 無地</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 絹糸</td> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td></td> <td>・ 柄物</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ ()</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p>	種類	糸の種類	パイルの形状	制電性	品質の程度	色柄	・ A種	・ 羊毛	・ カットパイル	・ 人体制電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地	・ B種	・ 絹糸	・ ループパイル			・ 柄物	・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()			<p>(6.13.3)(4)(7)</p> <p>(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>⑩ ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.11.2) (表7.11.1)</p>	<p>種別 ・ A種 ○ B種 工程1の着色 ○ 適用する ・ 適用しない</p>																																																																																																																												
種類	糸の種類	パイルの形状	制電性	品質の程度	色柄																																																																																																																																																				
・ A種	・ 羊毛	・ カットパイル	・ 人体制電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地																																																																																																																																																				
・ B種	・ 絹糸	・ ループパイル			・ 柄物																																																																																																																																																				
・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()																																																																																																																																																						
<p>(6.9.2)(2) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.2)(3) (表6.9.2)</p>	<p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1" data-bbox="341 1480 964 1554"> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>制電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td></td> <td>・ 人体制電圧 3KV以下</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td></td> <td>・ グリッパ-工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td>・ ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	パイルの形状	パイル長(mm)	制電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体制電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()	・ ループパイル			・ グリッパ-工法		・ カット、ループ併用		・ ()			<p>(6.13.3)(4)(7)</p> <p>(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>12 ステン塗り (OS) (7.12.2) (表7.12.1)</p>	<p>種類 ・ ビグメントステン塗り ・ オイルステン塗り オイルステン塗りの工程、塗料 ()</p>																																																																																																																																
パイルの形状	パイル長(mm)	制電性	工法	品質の程度																																																																																																																																																					
・ カットパイル		・ 人体制電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()																																																																																																																																																					
・ ループパイル			・ グリッパ-工法																																																																																																																																																						
・ カット、ループ併用		・ ()																																																																																																																																																							
<p>(6.9.2)(4)</p> <p>(6.9.2)(5)</p> <p>(6.9.3)(3)</p> <p>(6.9.3)(5)</p>	<p>・ タイルカーペット</p> <table border="1" data-bbox="341 1596 964 1648"> <tr> <th>種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 6.5</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ループパイル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm () 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号:))</p> <p>織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンディング法 ()</p> <p>タイルカーペットの敷き方</p> <table border="1" data-bbox="341 1774 786 1827"> <tr> <th>平場</th> <td>・ 市松敷き ・ 模様流し ()</td> </tr> <tr> <th>階段部分</th> <td>・ 市松敷き ・ 模様流し ()</td> </tr> </table>	種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()		・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()	平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ()	階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ()	<p>(6.13.3)(4)(7)</p> <p>(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)</p>	<p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p>	<p>13 木材保護塗料 塗り(OP) (7.13.2) (表7.13.1)</p>	<p>種別 ・ A種 ・ B種</p>																																																																																																																																	
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																																																																					
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()																																																																																																																																																					
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																																																					
平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ()																																																																																																																																																								
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ()																																																																																																																																																								
<p>⑧ 軽量鉄骨天井 下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)</p> <p>(6.6.4)</p> <p>⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>⑦ ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タ イル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)</p> <p>(6.8.2)(2)</p> <p>(6.8.2)(3)(7)(4)</p> <p>(6.8.2)(3)(7)(4)</p> <p>(6.8.2)(3)(4)</p> <p>(6.8.2)(3)(4)</p> <p>(6.8.2)(5)</p> <p>(6.8.3)(1)</p> <p>(6.8.3)(2)(7)</p> <p>8 カーペット敷き (6.9.2)(1) (表6.9.1)</p> <p>(6.9.2)(2) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.2)(3) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.2)(4)</p> <p>(6.9.2)(5)</p> <p>(6.9.3)(3)</p> <p>(6.9.3)(5)</p>	<p>野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 () ○ 屋外 ○ 25形 ()</p> <p>形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) (表6.10.5) ~ ・ ふところ≧3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>既存埋込みインサート ○ 使用する ○ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ○ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (3箇所) ・ 確認強度 ()</p> <p>耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示 (図面番号: A-10、16)</p> <p>○ 造音間仕切壁 吉野石膏 S12・W1 ランナー100 ｽﾀｯﾄﾞ75 造音認定: S01-0111 同等品</p> <p>材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1" data-bbox="341 483 875 556"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>無地</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>無地</td> <td>2.5mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1" data-bbox="341 588 964 661"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>KT</td> <td></td> <td></td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 制電防止床シート又は床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 693 964 766"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 視覚障害者用床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 798 875 871"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>300×300×7.0mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 耐動荷重性床シート</p> <table border="1" data-bbox="341 945 875 1018"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 防滑性床シート又は床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 1050 875 1123"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>無地</td> <td>2.5mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ゴム床タイル</p> <table border="1" data-bbox="341 1155 964 1228"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1" data-bbox="341 1480 964 1554"> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>制電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td></td> <td>・ 人体制電圧 3KV以下</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td></td> <td>・ グリッパ-工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td>・ ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p> <p>・ タイルカーペット</p> <table border="1" data-bbox="341 1596 964 1648"> <tr> <th>種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 6.5</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ループパイル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm () 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号:))</p> <p>織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンディング法 ()</p> <p>タイルカーペットの敷き方</p> <table border="1" data-bbox="341 1774 786 1827"> <tr> <th>平場</th> <td>・ 市松敷き ・ 模様流し ()</td> </tr> <tr> <th>階段部分</th> <td>・ 市松敷き ・ 模様流し ()</td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	無地	2.0mm		FS	無地	2.5mm		種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	KT			2.0mm		種類	性能	寸法	厚さ	備考						種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm		種類	厚さ	備考				種類	寸法	厚さ	備考	FS	無地	2.5mm		種類	色柄	寸法	厚さ	備考						パイルの形状	パイル長(mm)	制電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体制電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()	・ ループパイル			・ グリッパ-工法		・ カット、ループ併用		・ ()			種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()		・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()	平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ()	階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ()	<p>9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5) ~ (表6.10.8)</p> <p>⑩ フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p> <p>(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)</p> <p>11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)</p> <p>⑩ せっこうボード、その他 ード及び合板 張り (6.13.2) (表6.13.1)</p> <p>(6.13.3)(4)(7)</p> <p>(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)</p> <p>⑩ 壁紙張り (6.14.2)</p> <p>14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)</p> <p>15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)</p> <p>(6.16.3)(2)</p> <p>16 セルフレベ リング材塗り (6.17.2) (6.17.3)</p> <p>17 断熱材 (9.5.2)</p> <p>(9.5.3)</p>	<p>弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)</p> <p>・ 釘留め工法</p> <table border="1" data-bbox="1246 241 1751 357"> <tr> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>○ なら</td> </tr> <tr> <td>○ 複合フローリング (直張用)</td> <td>○ A種 ○ B種 ○ C種</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 接着工法</p> <table border="1" data-bbox="1246 399 1840 504"> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用)</td> <td rowspan="3">・ なら ()</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック (直張用)</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (直張用)</td> </tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>塗替え 下地調整 () 塗表 ○ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ()</p> <p>種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)</p> <table border="1" data-bbox="1246 766 1825 955"> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">○ せっこうボード</td> <td rowspan="3">○ GB-R ○ GB-S</td> <td>壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>天井 ・ 9.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 化粧せっこうボード</td> <td rowspan="2">・ トラバーチン模様 ・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール化粧吸音板</td> <td>○ 普通</td> <td>○ 9(不燃) ・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ けい酸カルシウム板</td> <td rowspan="2">・ 立体模様 ・ タイプII 0.8FK</td> <td>・ 9() ・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け ・ A種 ・ B種</p> <p>せっこうボードの目地工法 ○ 縦目処理 ○ 突付け ・ 目透し</p> <table border="1" data-bbox="1246 1102 1825 1165"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>シャワー室</td> <td>ビニルクロス</td> <td>○ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </table> <p>モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状:) 床の目地 ・ 図示 (図面番号:) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示 (図面番号:)</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1" data-bbox="1246 1354 1914 1438"> <tr> <th>施工箇所</th></tr></table>	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		○ なら	○ 複合フローリング (直張用)	○ A種 ○ B種 ○ C種	・ ()	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード (直張用)	・ なら ()			・ フローリングブロック (直張用)	・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種				材種	種別	厚さ(mm)	○ せっこうボード	○ GB-R ○ GB-S	壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	天井 ・ 9.5(不燃)	・ 12.5(不燃)	・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通	○ 9(不燃) ・ ()	・ けい酸カルシウム板	・ 立体模様 ・ タイプII 0.8FK	・ 9() ・ ()		施工箇所	種類	防火性能	シャワー室	ビニルクロス	○ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃	施工箇所
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																																																																																																						
FS	無地	2.0mm																																																																																																																																																							
FS	無地	2.5mm																																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																					
KT			2.0mm																																																																																																																																																						
種類	性能	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																					
種類	形状	備考																																																																																																																																																							
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																																																																																																																																								
種類	厚さ	備考																																																																																																																																																							
種類	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																						
FS	無地	2.5mm																																																																																																																																																							
種類	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																					
パイルの形状	パイル長(mm)	制電性	工法	品質の程度																																																																																																																																																					
・ カットパイル		・ 人体制電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()																																																																																																																																																					
・ ループパイル			・ グリッパ-工法																																																																																																																																																						
・ カット、ループ併用		・ ()																																																																																																																																																							
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																																																																					
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()																																																																																																																																																					
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																																																					
平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ()																																																																																																																																																								
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ()																																																																																																																																																								
材料	種別	樹種																																																																																																																																																							
・ フローリングボード (根太張用)		○ なら																																																																																																																																																							
○ 複合フローリング (直張用)	○ A種 ○ B種 ○ C種	・ ()																																																																																																																																																							
材種	樹種	厚さ	大きさ																																																																																																																																																						
・ フローリングボード (直張用)	・ なら ()																																																																																																																																																								
・ フローリングブロック (直張用)																																																																																																																																																									
・ 複合フローリング (直張用)																																																																																																																																																									
・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																									
材種	種別	厚さ(mm)																																																																																																																																																							
○ せっこうボード	○ GB-R ○ GB-S	壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																																																																																							
		天井 ・ 9.5(不燃)																																																																																																																																																							
		・ 12.5(不燃)																																																																																																																																																							
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																							
		・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																							
○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通	○ 9(不燃) ・ ()																																																																																																																																																							
・ けい酸カルシウム板	・ 立体模様 ・ タイプII 0.8FK	・ 9() ・ ()																																																																																																																																																							
施工箇所	種類	防火性能																																																																																																																																																							
シャワー室	ビニルクロス	○ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																							
施工箇所																																																																																																																																																									

⑧ 環境配慮改修工事	① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)	<ul style="list-style-type: none"> 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排気出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定8</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・1・()</td> <td>・5・()</td> <td>・10・()</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・5・()</td> <td>・120・()</td> <td>・240・()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.1.3) 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による () 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ・ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)</p> <p>(9.1.4) 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去方法 改修標準仕様書9.1.4(1)による () 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)</p> <p>(9.1.5) 石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示(図面番号: A-06) 石綿含有せっこうボードの処分 ① 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)</p> <p>(9.1.6) 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)</p> <p>※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。</p> <p>除去等作業の結果報告 除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。</p> <p>② 石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。 改修特記仕様書3章による</p>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	-	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	-	測定2		調査対象室外部の付近	計点	-	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	-	測定4		負圧・除じん装置の排気出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点	-	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計点	-	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点	-	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点	-	測定8		調査対象室外部の付近	計点		測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・1・()	・5・()	・10・()	試料の吸引時間(min)	・5・()	・120・()	・240・()	4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)	<ul style="list-style-type: none"> 断熱材打込み工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>(9.5.3) 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ () 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ () 施工箇所 図示(図面番号:)</p> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>(9.5.4) 断熱材後張り工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>せっこうボード等の張り付け</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 図示(図面番号:) ・ ()</p>	種類	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ()		種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ ()	・ 有	・ 無	5 屋上緑化改修工事 (9.6.1) (9.6.2) (9.6.3)	<ul style="list-style-type: none"> 植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 図示(図面番号:) ・ () 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示(図面番号:) ・ () <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない</p> <p>かん水装置 ・ 設置する(種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 図示(図面番号:) ・ ()</p>	6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2)~ (9.5.7) (9.5.9)	<ul style="list-style-type: none"> 路床の材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂 ・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・ 特号 ・ 1号) 添加量(kg/m²) (目標CR_R ・ 5以上 ・)</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 ・ () 厚さ[mm] ・ 0.5~1.0 ・ () 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上 ・ () 透水係数 ・ 1.5×10⁻¹cm/sec以上 ・ ()</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ 図示(図面番号:) ・ () 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>試験 路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()</p>	種別	材料	厚さ[mm]	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()	材料	厚さ[mm]	・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:) ・ ()	10 その他工事	① その他	<ul style="list-style-type: none"> ① スチール製ロッカー: 仮眠室用ロッカー JL2-1 共栄スチール株式会社 同等品 ② 鋼製床下地: スリーベース101L型 低床材(三洋工業同等品) ③ 樹脂製床支持脚: プラホレン6A型 (フクビ 同等品)
		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																
-	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																		
-	測定2		調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																		
-	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																																																		
-	測定4		負圧・除じん装置の排気出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点																																																																																																																		
-	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計点																																																																																																																		
-	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																																																		
-	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点																																																																																																																		
-	測定8		調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																		
	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5																																																																																																																			
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																																																																			
試料の吸引流量(L/min)	・1・()	・5・()	・10・()																																																																																																																			
試料の吸引時間(min)	・5・()	・120・()	・240・()																																																																																																																			
種類	厚さ[mm]																																																																																																																					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																						
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)																																																																																																																						
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																																						
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																																						
・ ()																																																																																																																						
種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]																																																																																																																				
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																				
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																				
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																				
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																				
・ ()	・ 有	・ 無																																																																																																																				
種別	材料	厚さ[mm]																																																																																																																				
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																				
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																				
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																				
材料	厚さ[mm]																																																																																																																					
・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																					
2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)~ (9.2.3)	3 外断熱改修工事 (9.3.2)	<ul style="list-style-type: none"> 断熱材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.3.3) 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()</p> <p>(9.3.4) 工法 通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ () 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ () 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 不陸等の地調整 ・ 行う</p>	種類	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ロックウール断熱材		・ グラスウール断熱材		・ ()		種類	防火性能	備考	-																																																																																																
種類	厚さ[mm]																																																																																																																					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																						
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)																																																																																																																						
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																																						
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																																						
・ ロックウール断熱材																																																																																																																						
・ グラスウール断熱材																																																																																																																						
・ ()																																																																																																																						
種類	防火性能	備考																																																																																																																				
-																																																																																																																						

版	年月日	設定番号	変更事項	名称	縮尺	原図A3	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事			検図	***	年月日
				図名			承認	***	年月日
				特記仕様書(4)	縮尺	NS	図番		A-04



※昇降用足場設置前に、消防車両・関係車両の運用に問題がない様、消防署と事前に協議を行い、施工を行うこと。



配置図・仮設計画図 S=1/500

: 改修建物を示す

: 交通誘導員を示す (大型車両進入時)

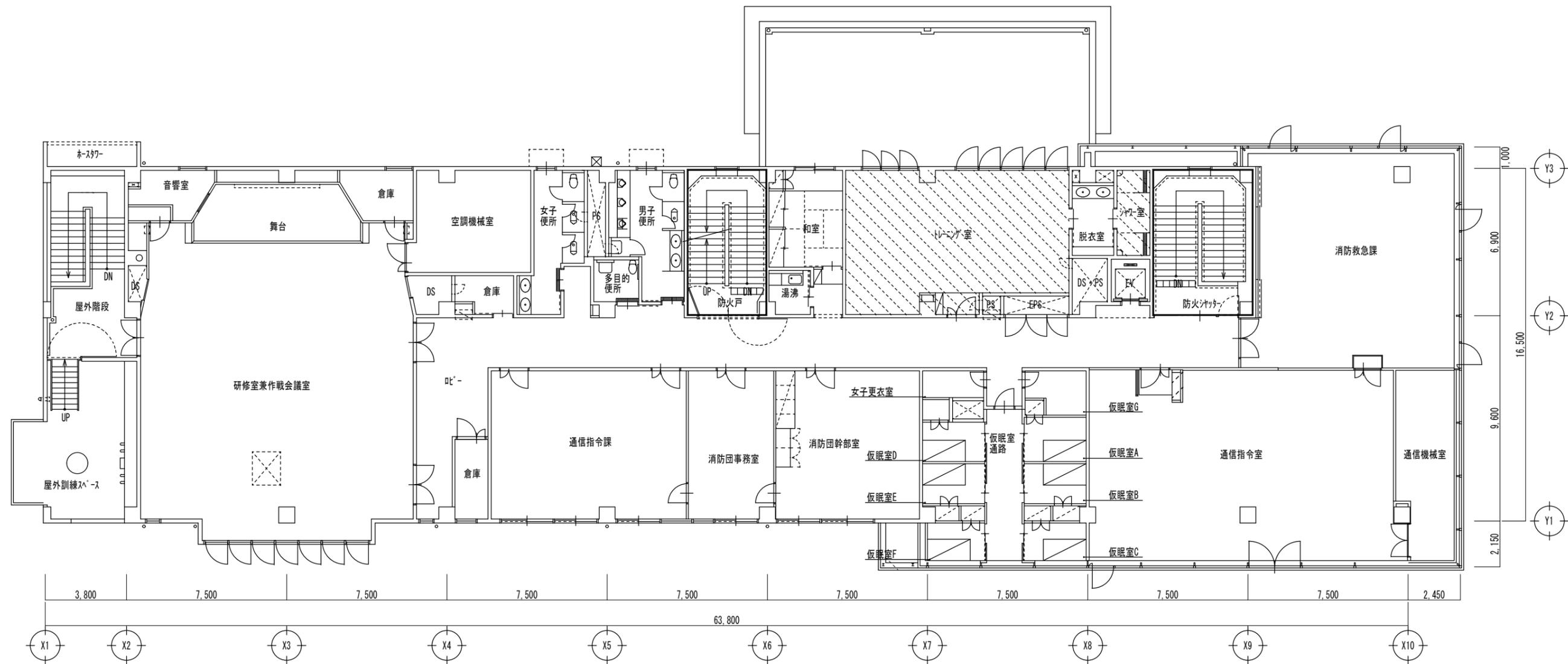
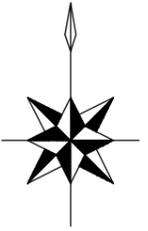
版	年月日	設変番号	変更事項

名称			
三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事			
図名	縮尺	原図 A 3	
配置図・仮設計画図	1/500		



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

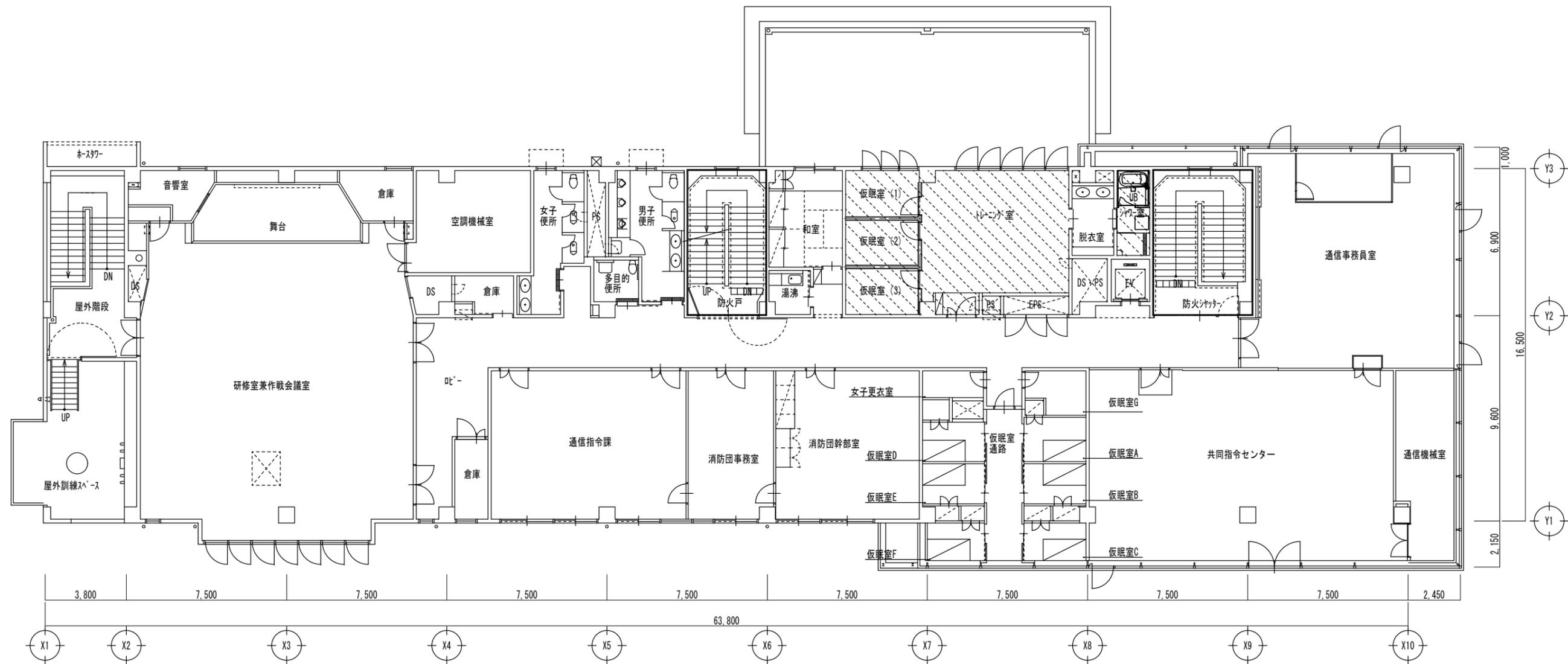
設計	***	年月日	
校閲	***	年月日	
承認	***	年月日	
図番	A-05		



3階平面図 (改修前) S=/200

改修範囲エリア

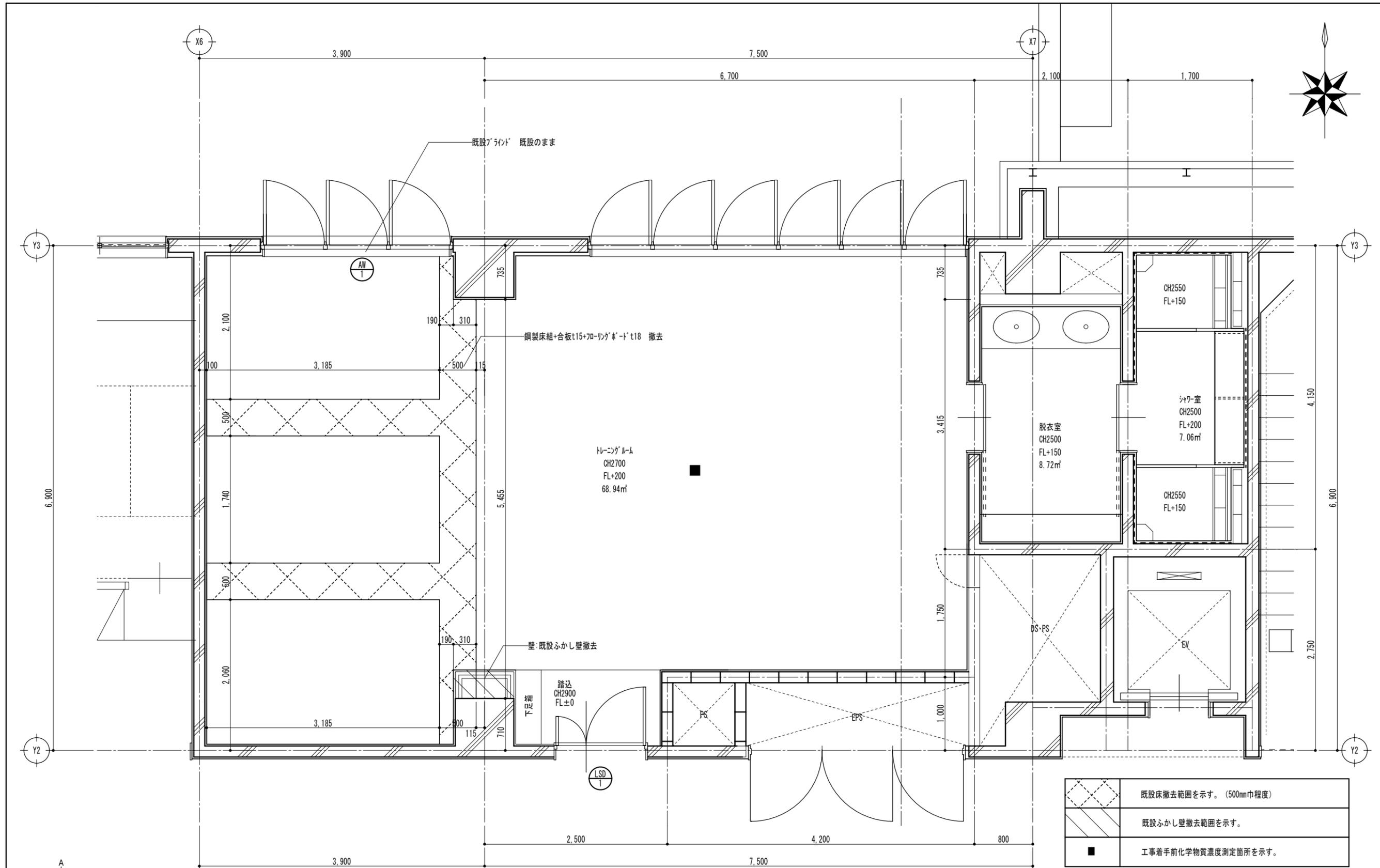
版	年月日	設変番号	変更事項	名称	縮尺	原図 A 3	ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/200			検図	***	年月日
				図名				承認	***	年月日
				3階平面図 (改修前)				図番		A-07



3階平面図 (改修後) S=/200

	改修範囲エリア
--	---------

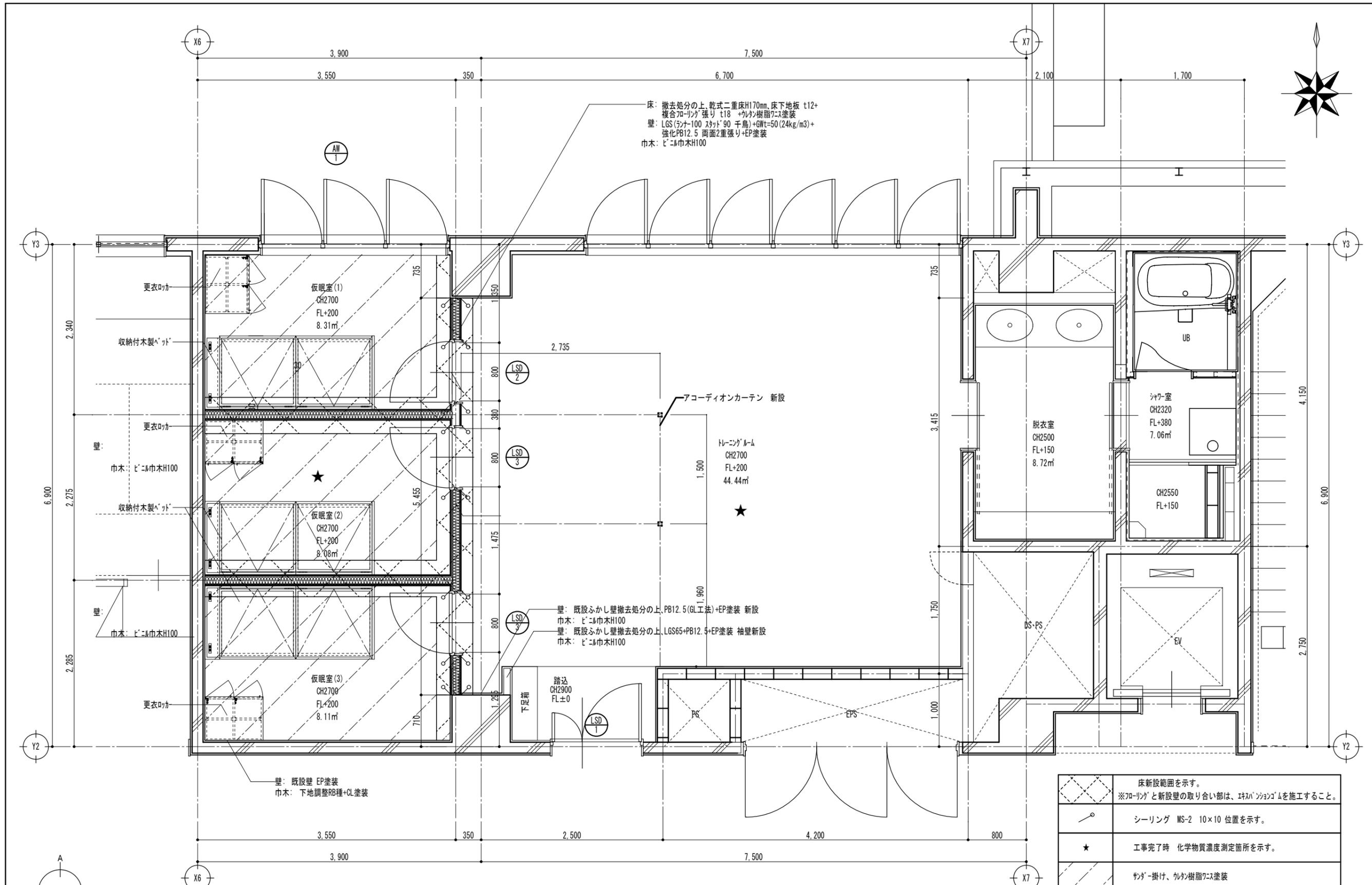
版	年月日	設変番号	変更事項	名称	縮尺	原図 A 3	 ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/200			検図	***	年月日
				図名				承認	***	年月日
				3階平面図 (改修後)				図番		A-08



	既設床撤去範囲を示す。(500mm巾程度)
	既設ふかし壁撤去範囲を示す。
	工事着手前化学物質濃度測定箇所を示す。

トレーニングルーム平面詳細図 (改修前) S=/50

版	年月日	設変番号	変更事項	名称	縮尺	原図A3	ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/50			検図	***	年月日
				図名				承認	***	年月日
				トレーニングルーム平面詳細図 (改修前)				図番		A-09



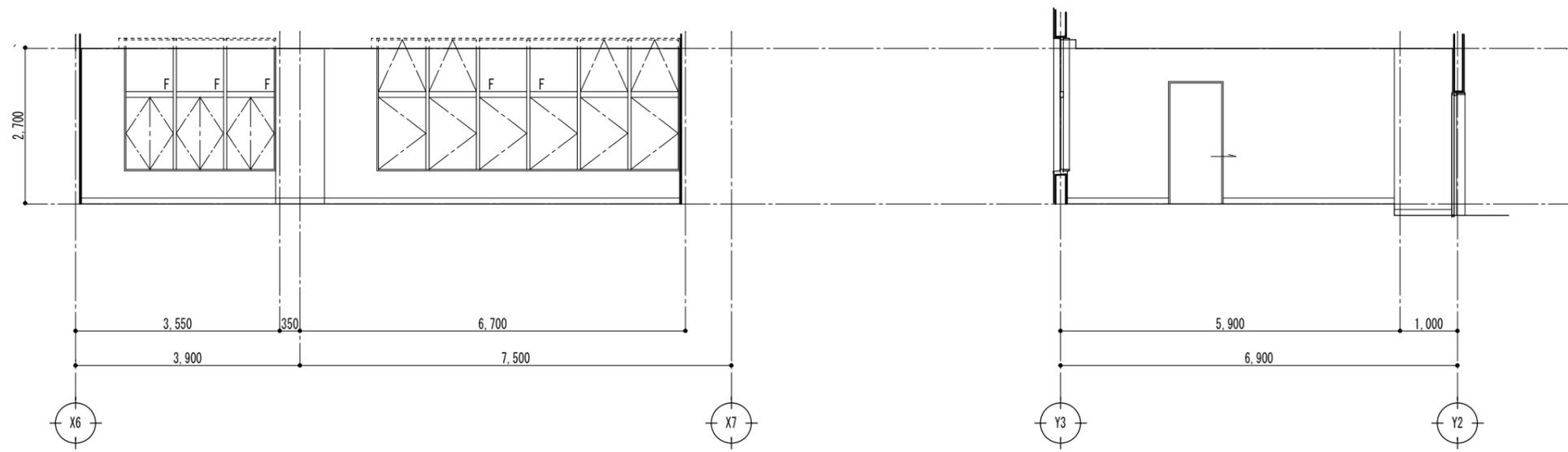
トレーニングルーム平面詳細図(改修後) S=1/50

	床新設範囲を示す。 ※フローリングと新設壁の取り合い部は、モルタルジョイントを施工すること。
	シーリング MS-2 10×10 位置を示す。
★	工事完了時 化学物質濃度測定箇所を示す。
	フック掛け、ウレタン樹脂ニス塗装

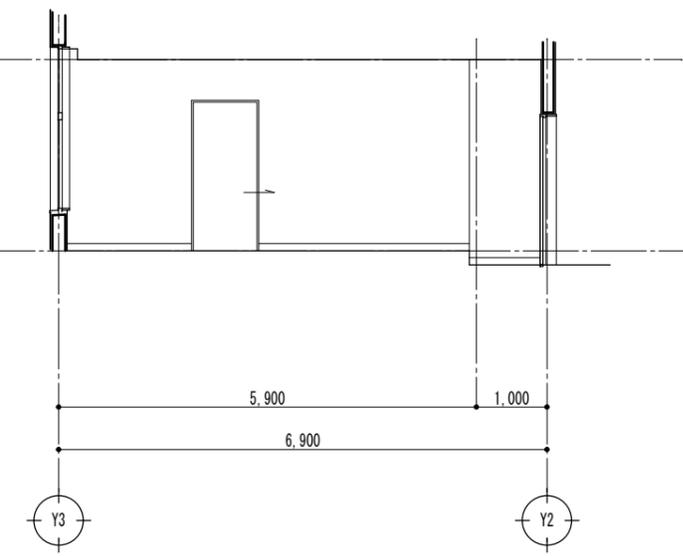
版	年月日	設変番号	変更事項	名称
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事
				図名 トレーニングルーム平面詳細図(改修後)
				縮尺 原図A3 1/50

設計	***	年月日
検図	***	年月日
承認	***	年月日
図番	A-10	

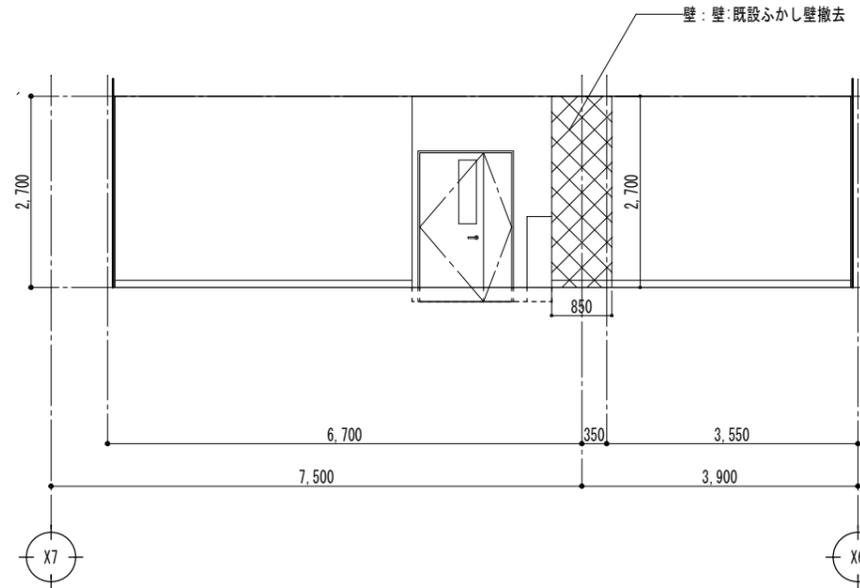
ビーム計画設計株式会社
 Beam Planning Corporation



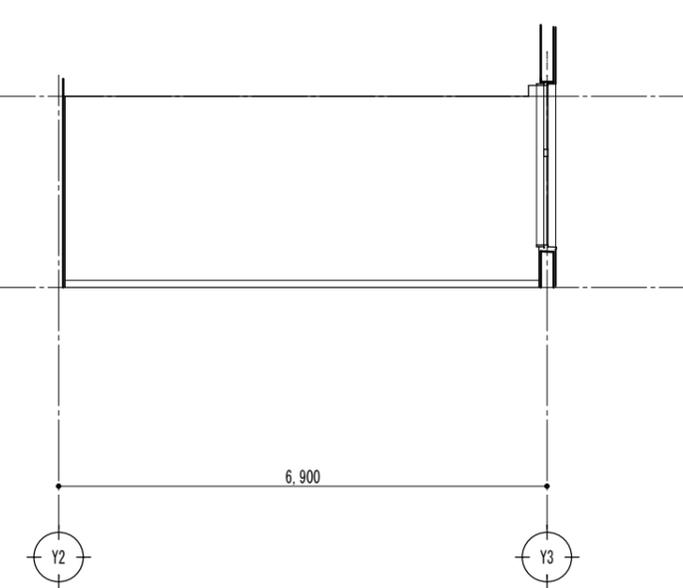
トレーニングルーム 展開図A SC1/100



トレーニングルーム 展開図B SC1/100



トレーニングルーム 展開図C SC1/100

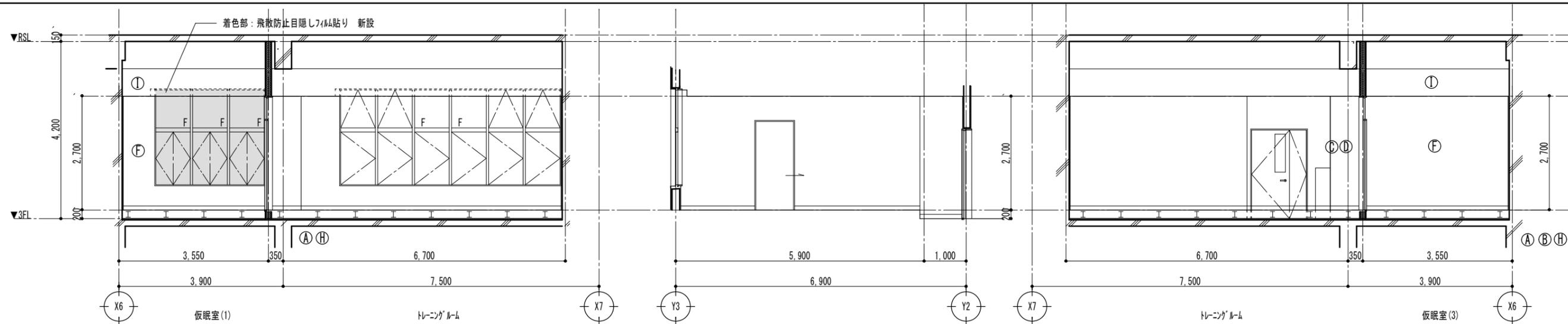


トレーニングルーム 展開図D SC1/100

版	年月日	設変番号	変更事項	名称	縮尺	原図A3	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/100		検図	***	年月日
				図名 トレーニングルーム展開図(改修前)			承認	***	年月日
							図番		A-11



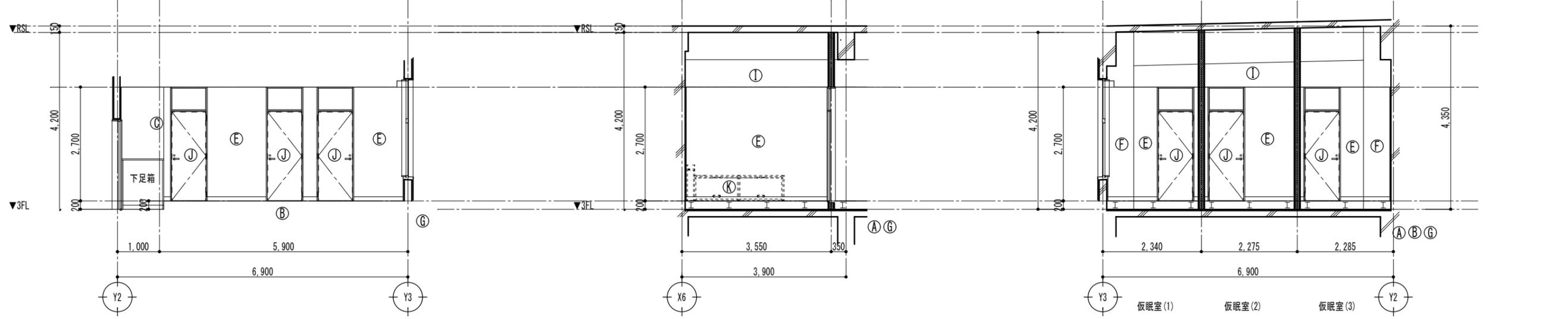
ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



仮眠室(1)トレーニングルーム 展開図A SC1/100

トレーニングルーム 展開図B SC1/100

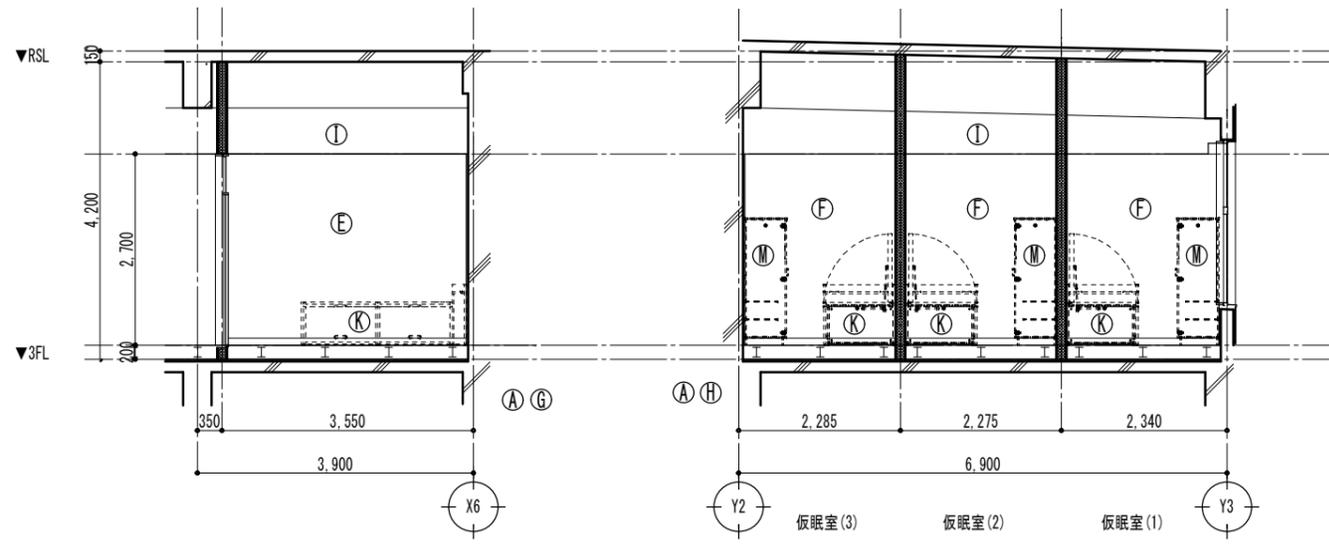
仮眠室(3)トレーニングルーム 展開図C SC1/100



トレーニングルーム 展開図D SC1/100

仮眠室(2), (3) 展開図A SC1/100

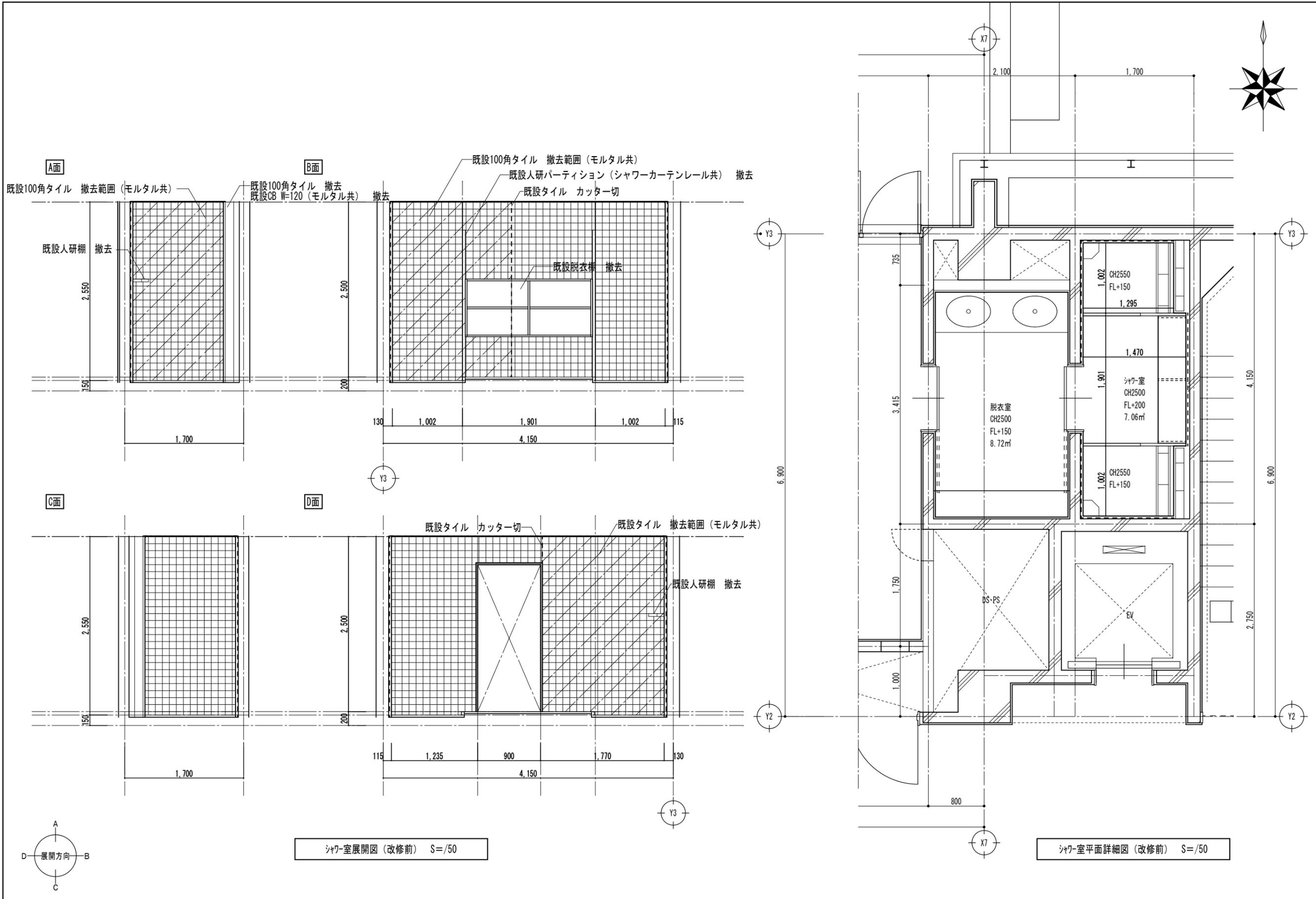
仮眠室(1), (2), (3) 展開図B SC1/100



仮眠室(1), (2) 展開図C SC1/100

仮眠室(1), (2), (3) 展開図D SC1/100

Ⓐ 乾式二重床H170mm.床下地板 t12+ 複合フローリング張り t18+ クレタ樹脂ワニス塗装	Ⓘ LGS+岩綿吸音板t9 (PBt9.5捨貼り) 新設
Ⓑ 既設床部:下地調整RB種+ウレタン樹脂ワニス塗装	Ⓧ 軽量鋼製 片開きドア FIX窓付
Ⓒ LGS65+PB12.5+EP塗装 袖壁新設	Ⓨ 収納付木製ベッド 新設
Ⓓ PB12.5(GL工法)+EP塗装 新設	Ⓩ 更衣ロッカー 新設
Ⓔ LGS新設部:LGS(ランナ-100 スタッド 90 千鳥)+Gwt=50(24kg/m3)+ 強化PB12.5 両面2重張り+EP塗装	
Ⓕ 下地調整RB種+EP塗装	
Ⓖ ビニル巾木H100 新設	
Ⓗ 下地調整RB種+CL塗装	



シャワー室展開図 (改修前) S=/50

シャワー室平面詳細図 (改修前) S=/50

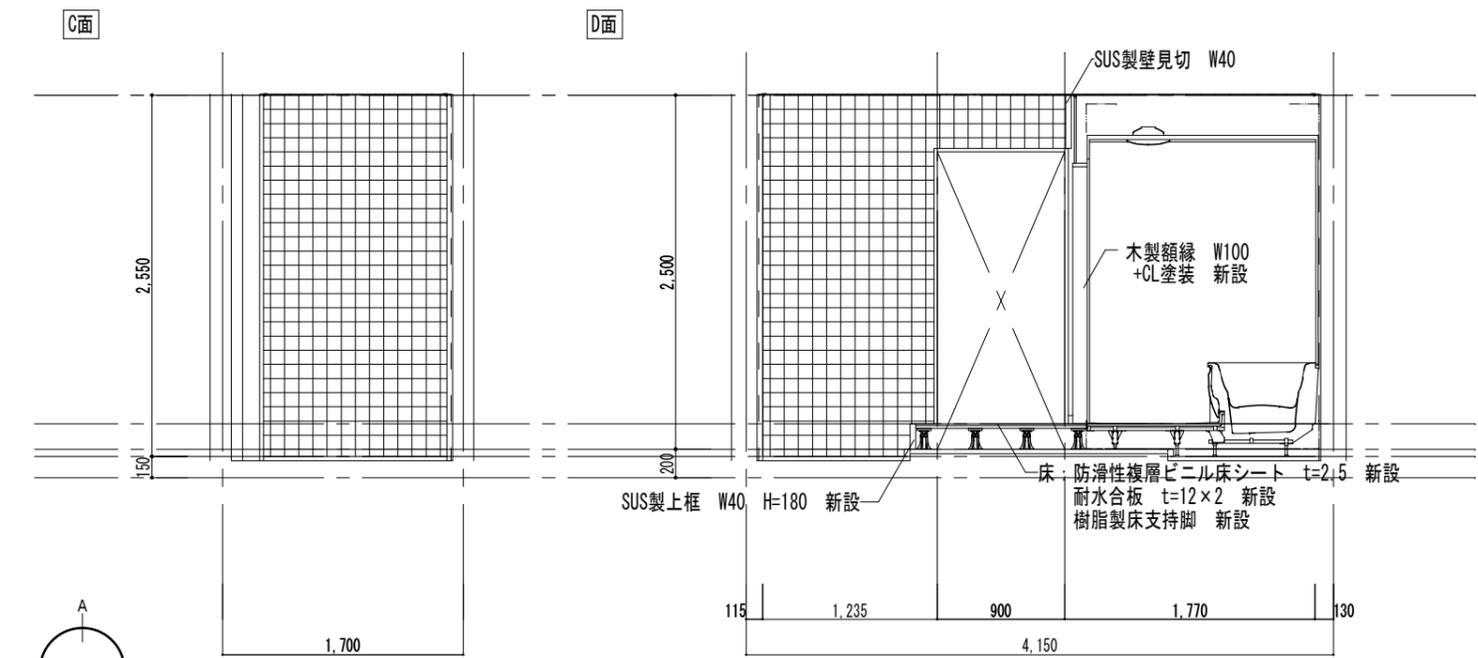
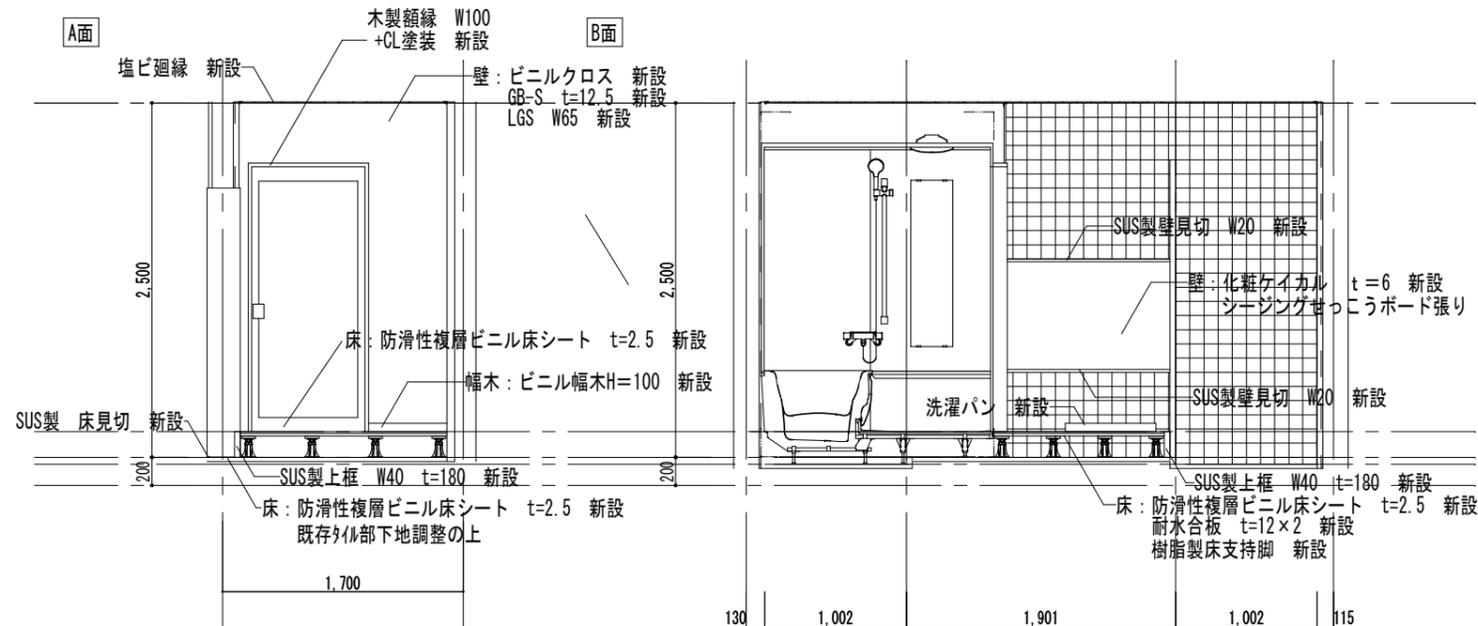
版	年月日	設変番号	変更事項

名称		
三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事		
図名	縮尺	原図A3
シャワー室平面詳細図・展開図 (改修前)	1/50	

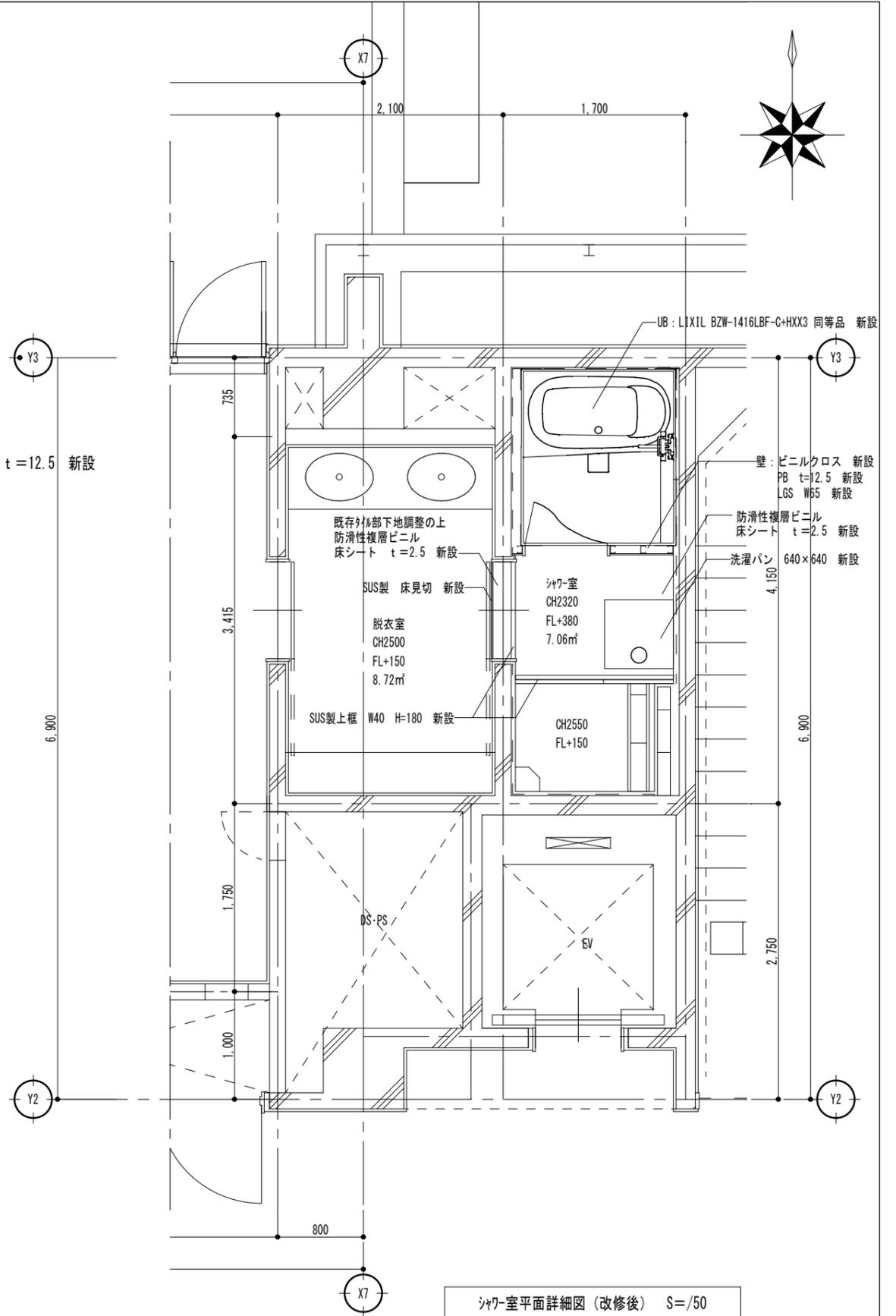
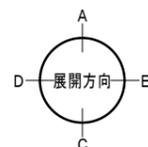


ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

設計	***	年月日
検図	***	年月日
承認	***	年月日
図番	A-13	



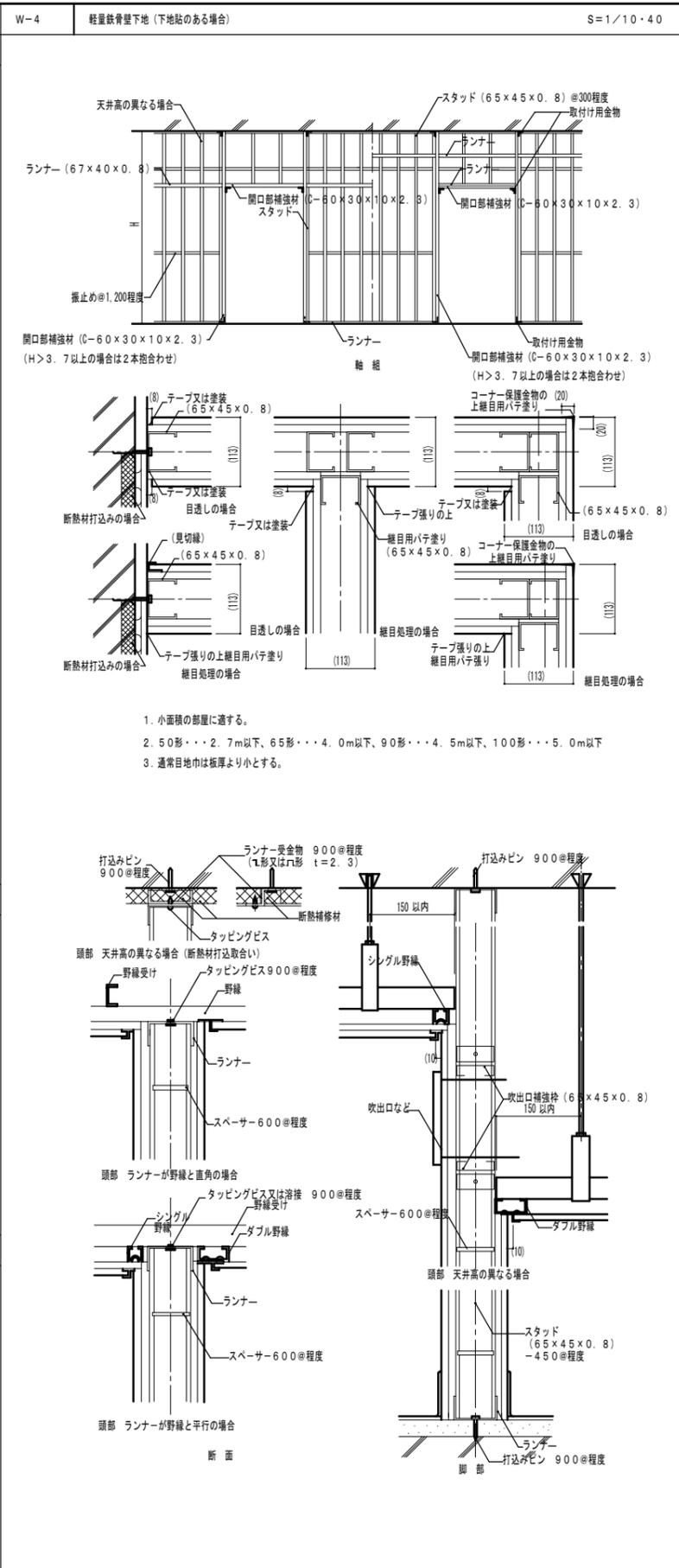
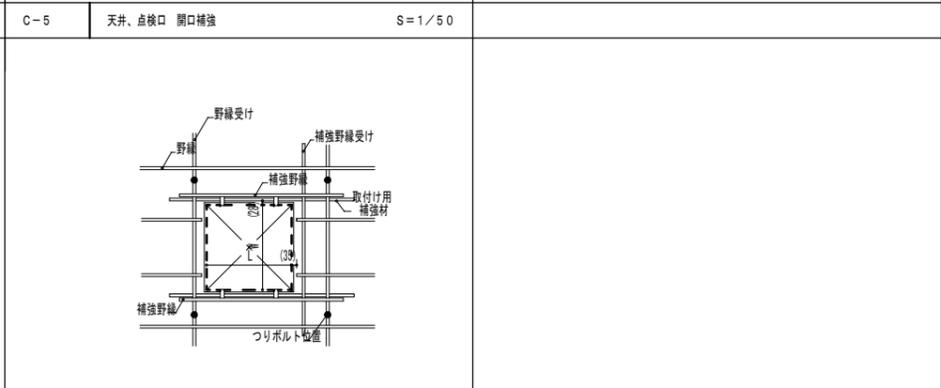
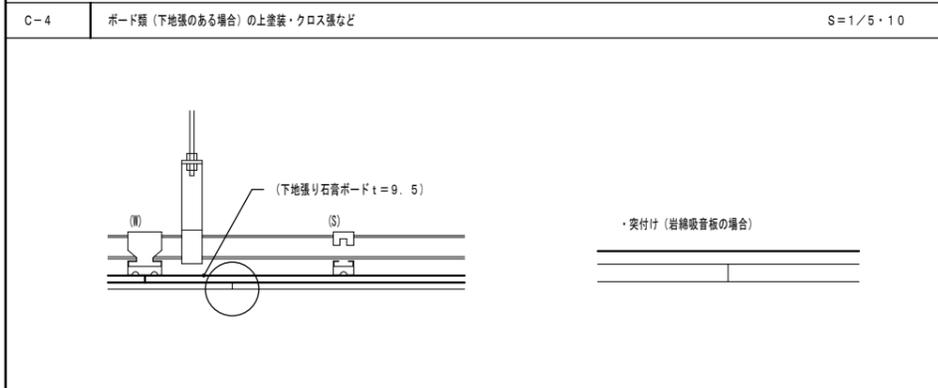
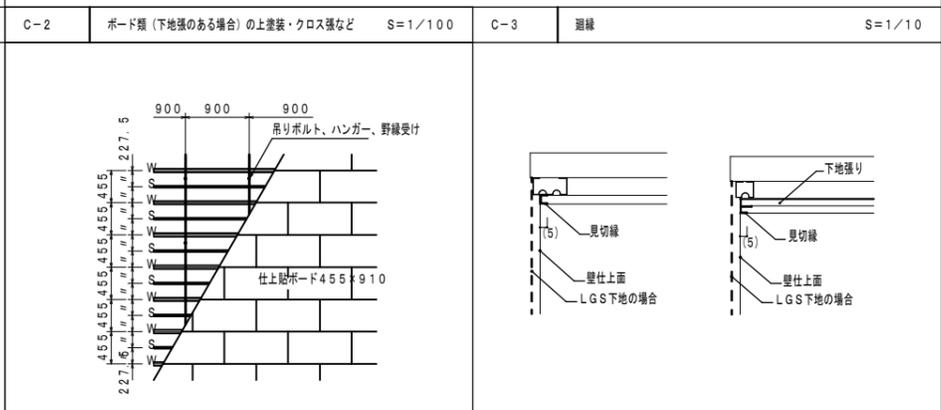
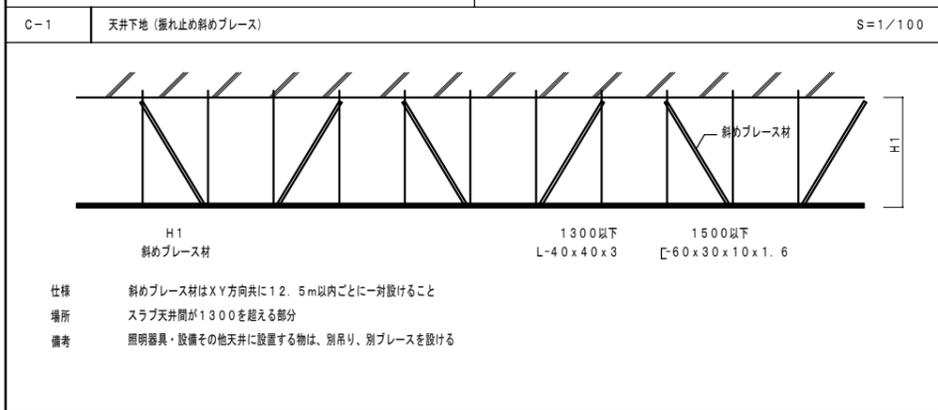
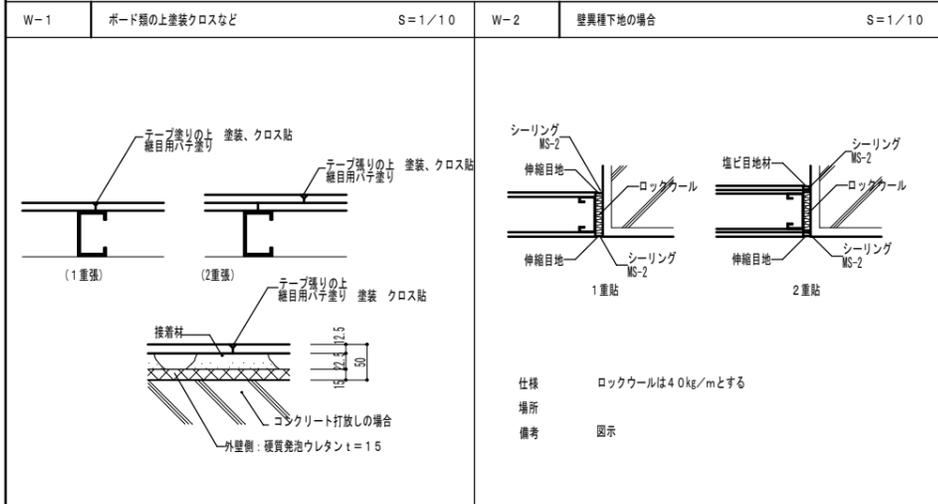
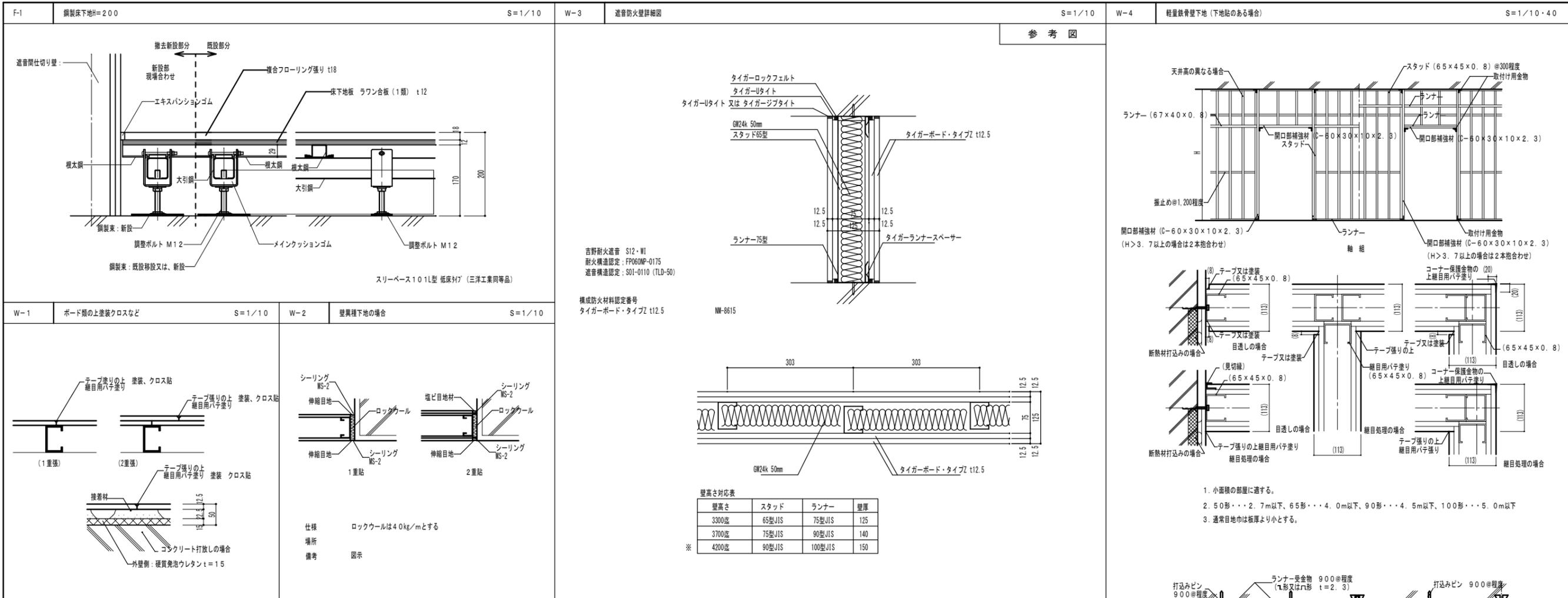
シャワー室展開図 (改修後) S=/50



シャワー室平面詳細図 (改修後) S=/50

版	年月日	設変番号	変更事項	名称	縮尺	原図A3	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/50		検図	***	年月日
				図名			承認	***	年月日
				シャワー室平面詳細図・展開図 (改修後)			図番		A-14





電気設備工事特記仕様書	
1. 工事概要	
1. 工事名称	三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事
2. 工事場所	津市 久居明神町 地内
3. 建物概要	津市消防本部 R C造 4階建 延べ面積 3,807.563㎡ 用途区分(15)項
4. 工事種目	用途区分は消防法施行令別表第一による表記
下記において●印を付した工事を対象とする。	●電力設備 ●通信・情報設備 ●構内配電線路 ●受変電設備 ●中央監視制御設備 ●構内通信線路 ●電力貯蔵設備 ●医療関係設備 ●発電設備 ●医療関係設備 ●その他
II. 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。 <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 <ul style="list-style-type: none"> 「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版) 「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版) 「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編 各令和4年版) 電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) 電気工事業の業務の適正化に関する法律 電気工事士法 労働安全衛生法 消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む。) 電力会社供給約款 その他関連法令、関連諸基準
III. 特記仕様	
1. 一般共通事項	下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
1. 一般事項	(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 (2) 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。
2. 足場	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> 内部足場の種別(参考) ● 脚立 ● 棚足場 ● その他() 外部足場の種別(参考) ● 手摺先行据置枠組本足場 ● 移動足場 ● 高所作業車 ● その他() 外部足場設置範囲(参考) ● 外部改修部 ● 設備改修部 ● 昇降用 ● 転落防止用 ● 防護シート等による養生 ● 適用する ● 適用しない
・足場(手すり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る)の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。	
1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者	
2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成審査者」に必要な資格を有する者	
3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者	
3. 三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量集計)を超えて請求することはできない。
4. 電気工作物の種類	●自家用電気工作物
5. 電気工事士	電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。
6. 電気工事業の業務の適正化に関する法律	電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

7. 電気保安技術者	電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。 また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。 なお、電気主任技術者の立会費用は、下記のとおりとする。 ・受注者負担 ●不要 ●その他()
8. 品質管理	工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。
9. 出来形管理	以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ① 各種盤据付耐震強度(設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ)基礎寸法水平垂直 ② 配管・配線工事支持間隔 ③ スイッチ類の取付高さ
10. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。 また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。
11. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。 <ul style="list-style-type: none"> ① 総合施工計画書(包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。) ② 工種別施工計画書(施工要領書)各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。 ③ 施工図(プロット図、平面図、展開図、各種詳細図)主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。 ④ 耐震計算書 ⑤ 照度分布図
12. 機材等	工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 使用機材届出書 ② 機器明細図 ③ 各種計算書 設計図書による他、監督員の指示による。
13. 完成図書	作成する(●完成図 ● 保全に関する資料 ● ()) 完成図作図範囲(設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる権限は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。
14. 工事写真	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(最新版))に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(平成29年3月1日付け国営整第211号)」による。
15. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 (1) 施工可能日 <ul style="list-style-type: none"> ● 指定なし ● 一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ● 指定あり ● 指定日(●施設休業日 ● 打ち合わせ ● その他())
(2) 施工可能時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定なし ● 一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ● 指定あり ● 指定時間(●()時～()時 ● 打ち合わせ ● その他())
(3) その他	()
16. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
17. 建築副産物情報交換システムの利用	受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。 なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」ヘデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
18. 発生材の処理等	● 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。 分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法	工種 ● 新築 ● 増築 ● 修繕 ● 模様替 ● 解体 ● その他() 分別解体の方法 ● 手作業 ● 手作業、機械作業併用
(1) 引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。	()
(2) 特別管理産業廃棄物	● 変圧器 ● コンデンサ ● その他() 現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。 なお、施工に際してPCB等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
(3) 現場内において再利用を図るもの	● 発生土 ● その他()
(4) 再資源化を図るもの	● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ● 建設発生木材 ● ()
(5) 水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの	● 蛍光灯 ● H I Dランプ(高輝度放電ランプ) ● その他() 「水銀廃棄物ガイドライン 第3版」(令和3年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。
(6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 (マニフェストA、B2、D票を提示すること。)	
19. 官公署への手続き	工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を滞滞なく行う。 なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。 ● 消防設備関係 ● 電気工作物関係 ● 受電関係 ● 通信関係 ● 建設工事関係 ● その他()
20. 消防法関係の手続き	(1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ● 本工事(● 建築工事 ● 電気設備工事 ● 機械設備工事) ● 別途工事 (2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。
21. 工事用仮設備	構内への設置 ● できる(施設管理者と協議) ● できない
22. 工事用電力	構内既存の施設 ● 利用できる(●有償 ●無償) ● 利用できない 本工事で新規受電した時からの電力料金は本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。
23. 工事用水	構内既存の施設 ● 利用できる(●有償 ●無償) ● 利用できない
24. 工事中等の保安監理	電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手前から引渡しまでの電気保安管理等にかかると費用は本工事に含まれる。
25. 搬入計画	大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法(扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。
26. 製品確認	発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。
27. 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。
28. 完成確認及び完成検査時等の電源確保	機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。
29. 完成時の操作説明	総合整備等操作に必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。
30. 不正軽油の使用の禁止	(1) 市工事に施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬入搬出車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 (2) 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 (3) 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

2. 施工仕様	下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
1. 既設設備等の調査	既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。 (1) 地中埋設管路 <ul style="list-style-type: none"> 1) 項目 ● 埋設配管 ● 構造物 ● その他() 2) 調査範囲 ● 埋設ルート ● その他()
(2) 貫通及びはつり	<ul style="list-style-type: none"> 1) 項目 ● 鉄筋 ● 配管 ● その他() 2) 調査範囲 ● 施工部分 ● その他()
(3) 既設との取合い	<ul style="list-style-type: none"> 1) 項目 ● 接続箇所 ● 増設箇所 ● その他() 2) 調査範囲 ● 施工部分 ● その他()
2. 施工前の測定等	既設工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。
3. 耐震施工	(1) 想定される地震に対応するものとする。 (2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。
4. 耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」(国土交通省大臣官庁官庁営繕部)及び「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(一財)日本建築センター)を適用する。
5. はつり	(1) 穴明け及び補修 ● なし ● あり(貫通場所及び口径は別図による) (2) 溝はつり及び補修 ● なし ● あり(はつり深さは別図による)
6. あと施工アンカー	性能確認試験及び施工確認試験 ● 行う ● 行わない
7. 基礎の配線ビット	基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。
8. 配管・配線の耐震処置	建物引込部の配管の耐震処置 ● 行う ● 行わない 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ● 行う ● 行わない
9. 最上階の埋込配管	最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。
10. 露出配管	(1) 雨線など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 附属品は、ねじ込み形を使用する。 (3) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (4) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (5) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。
11. 合成樹脂管	(1) 合成樹脂管の管端には、フッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。(P F管)
12. 予備配管等	埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は(P F 2 2)を1本、5回路以上は(P F 2 2)を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。
13. 金属製電線管等の塗装	(1) 露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 屋外、屋内(電気室、機械室、EPS、居室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。 2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。 3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。) 4) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。
(2) 塗装はエッチングプライマー1種の地下処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。	
14. 導入線	通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線(φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。
15. 予備スリーブ	梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。 なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。
16. ボックス類	位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として金属製とする。
17. 軽量間仕切のボックス	軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。
18. プルボックス	(1) 屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。 (2) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	名称	縮尺	原図A3	 ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation	設計	年月日
					三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事					検図
						電気設備工事特記仕様書(1)	NS		承認	年月日
									図番	E-01

19. ボルト・ナット類 屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ・ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ	20. ケーブル及び配線 (1)表示 下記の箇所、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。 ① ケーブルがスラブを貫通する部分 ② ケーブル分岐部分 ③ 変電所内のケーブル引出し部分 ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分 ⑤ 屋内の直線部分は、30mごと ⑥ プルボックス内 ⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、50mごと ⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 ⑨ マンホール及びハンドホールごと (2)ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所	21. 配線器具の設置 (1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。	22. 照明器具の設置 (1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (2)天井・地下床材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (3)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。	23. 照明改修の際の測定 対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所 () 各諸室 測定回数 前後各(1) 回	24. 分電盤、制御盤、キュービクル等 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。	25. 受変電設備、発電設備の設置場所 (1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。 (3)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (4)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。	26. 発電設備の燃料配管 (1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。	27. 非常放送設備のスピーカ設置 (1)放送区域の各部分からスピーカまでの水平距離は10m以内とする。 (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離15m以内とする。	28. 土工事 (1)埋戻しの材料及び工法 ・B種 (材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め) ・その他 () ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。 (3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。	29. ハンドホール、マンホール 高さ900mmを超えるものにあつては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。	30. 地中配線路の表示杭 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では30m程度に1個（30mに満たない部分はその間に1個）
---	--	--	--	---	--	--	---	--	--	--	---

3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については図面による。	【電力設備】 1. 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御器 (5)外灯 (単独設置) (6)コンセント等 (7)分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1)避雷針 (2)雷サージ保護 (3)電源回路保護 (4)通信回線保護 4. 接地設備 (1)接地工事 (2)接地抵抗測定 (3)接地極埋設標	・無し ●盤改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他 () ●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯 (単独設置) ●コンセント等 ・分電盤、制御盤等 ・その他 () 1) 形式 ●一般型 ●一般型 2) 灯具 ●LED灯 ・その他 () 3) 用途 ●屋内用 ・屋外用 ●防災用 4) 環境 ●普通地域 ・塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ ・その他 () 2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他 () 3) 制御方式 ・有線 ・無線通信 1) 照明用ポール ①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他 () ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) 灯具 ・LED灯 ・その他 () 4) 電源 ・商用電源(60Hz) (・200V ・100V) ・その他 () 5) 制御 ・Eスイッチ ・タイマ ・その他 () 6) 接地 ・単独接地 (・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ・共用 ・その他 () ●一般型 ・防水型 ・バランシアクト (・固定型 ・上下動型(アップ式を含む)) 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。	・無し ・盤改造 ・配線接続 ・その他 () ・分電盤、制御盤等 ・その他 () ・給水 ・排水 ・消火 ・空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他 () 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 ・専用接地 ・金属管接地 (7.5kW以下) 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。	1) 受雷部 ・突針 ・横上導体 ・笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造体利用 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ①測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ②測定回数 ・3回 ・() 回 5) 接地極埋設標を設置する。 1) 耐雷トランス ・設置 (・単相用 ・動力用) ・設置しない 2) SPD ・低圧用 (・クラスⅠ ・クラスⅡ) ・通信用 (・カテゴリC2 ・カテゴリD1) 3) SPDの性能仕様は別図による 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 () 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り () 1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・() 回 接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。
---	--	--	--	--

【受変電設備】 5. 受変電設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)盤類 (4)交流遮断器 (5)断路器 (6)負荷開閉器 (7)変圧器 (8)進相コンデンサ (9)直列リアクトル (進相コンデンサ用) (10)キュービクル等 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所 【電力貯蔵設備】 6. 直流電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)整流装置 (4)蓄電池 7. 交流無停電電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)給電方式 (4)整流装置等 (5)蓄電池 (6)性能 8. 電力平準化用蓄電設備 9. 分散電源エネルギーマネジメントシステム	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。 ・無し ・改造 (機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他 () ・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他 () 1) 形式 ・キュービクル式配電盤 (JIS C 4620) ・高圧スイッチギア (JEM 1425) (・CX ・CW ・PW ・MW) ・開放形配電盤 ・その他 () 2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項 () 真空遮断器 (VCB) ①操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ②引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し 1) 形式 ・3極単投 ・単極単投 (避雷器用に限る) 2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作 (避雷器用に限る) 1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ①操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 ②限流ヒューズ ・有 (ストライク付き) ・無 ③引外し装置 ・ストライク引外し ・電圧引外し ・無 ①本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ②保護装置 過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③避雷器 ・内蔵 ・無 保護装置は、過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする 1) 形式 ・油入 ・モールド 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイヤル温度計 ・有 (・最大値指針 有 ・最大値指針 無) ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) その他 ①内部異常を検知して動作する警報接点を設けること ②放電装置を附属又は内蔵すること 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6% ・13% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 ・本工事 (・21N/mm2 ・18N/mm2) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 1) 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。 ・屋内 ・屋外 (・地上 ・屋上)	・非常用照明器具電源 ・受変電設備制御電源 ・その他 () () kVA 1) 出力電圧 直流 (・12V ・24V ・48V ・() V) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。 1) 種類 ・鉛蓄電池 (・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池 (・AH ・AMH) ・その他 () 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ () kVA () () kVA ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式 ・その他 () 整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。 1) 種類 ・鉛蓄電池 (・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池 (・AH ・AMH) ・その他 () 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 停電補償時間 () ・仕様詳細は別図による。 ・仕様詳細は別図による。
--	--	--

【発電設備】 10. 燃料式発電設備 (1)用途 (2)設置場所 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)マルチ化装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備	1) 用途 ・防災電源専用 (防災認定品) ・防災電源兼用 (防災認定品) ・一般用 2) 区分 ・常用 ・非常用 ・屋内 (・普通地域 ・塩害地域) ・屋外 (・普通地域 ・塩害地域) ・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ 1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オープン式 ・キュービクル式 (・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m) 3) 始動時間 (停電検出後) ・10秒以内 ・40秒以内 ・ () 秒以内 4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・10時間以上 ・24時間以上 ・72時間以上 ・その他 () 5) 発電機 ①電気方式 ・三相3線式 (・6.6kV ・200V ・() V) ・単相3線式 (200/100V) ・単相2線式 (200V ・100V ・() V) ②定格周波数 60Hz ③定格出力 () kVA 6) 原動機 ①定格出力 () kW 以上 () ps 以上 ②冷却方式 ・ラジエータ方式 ・その他 () 1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他 () 2) 引渡時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他 () 1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク () リットル ・燃料小出槽 () リットル ・主燃料槽 () リットル ・屋外型 (・ステンレス製 ・鋼製) ・屋内型 (・ステンレス製 ・鋼製) 3) 主燃料槽 ①設置場所 ・屋内 ・屋外(地上) ・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設) ②形式 ・二重殻タンク ・一重殻タンク ・その他 () ③設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他 () ④タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 1) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他 () 2) 油量指示計 ・有 ・無 1) 電動ポンプ ・歯車ポンプ ・油中ポンプ 2) 手動ポンプ (ウイングポンプ) ・有 ・無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無 ・本工事 (・21N/mm2 ・18N/mm2) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () ・ () の仕様詳細は別図による。 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 ・仕様詳細は別図による。 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 ①設置場所 ・屋内 ・屋外(地上) ・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設) ②形式 ・二重殻タンク ・一重殻タンク ・その他 () ③設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他 () ④タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 1) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他 () 2) 油量指示計 ・有 ・無 1) 電動ポンプ ・歯車ポンプ ・油中ポンプ 2) 手動ポンプ (ウイングポンプ) ・有 ・無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無 ・本工事 (・21N/mm2 ・18N/mm2) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () ・ () の仕様詳細は別図による。 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 ・仕様詳細は別図による。 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 1) 種別 ・構内交換装置 (・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ) ・ポタ電話装置 ・その他 () 2) 局線応答方式 ・局線中継台 ・分散中継台 ・ダイヤルイン ・ダイレクトインダイヤル ・ダイレクトインライン ・その他 () 3) 保安用接地 ・本工事 (・別途工事 ・既設利用) ・その他 () 4) 本配電盤(MDF) ・自立フレーム (・片面形 ・両面形) ・交換機一体型 ・壁掛型 ・その他 () 5) 電源装置 ①形式 ・別置型 ・一体形 ・その他 () ②停電補償時間 ・30分以上 () 以上 ・一般電話機 ・多機能電話機 ・IP電話機 (3) 電話機 ・デジタルコードレス電話機 (PHS方式) ・IPコードレス電話機 (無線LAN方式) ・その他 () (4) 端子盤類 1) 端子盤 ・中継端子盤 (IDF) ・室内端子盤 2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。 ・ローテーションアウトレット (・固定型 ・上下動型 (アップ式を含む)) ・壁コンセント ・その他 () 1) マルチ化装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置 仕様詳細は別図による。 (2) マルチ化装置 仕様詳細は別図による。 (3) 出退表示装置 仕様詳細は別図による。 (4) 時刻表示装置 仕様詳細は別図による。 (5) 警報等表示装置 1) 機器 ・表示盤 ・検出装置 ・その他 () 2) 表示盤 ①表示方式 ・表示窓式 ・その他 () ②施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) 検出装置 ①検出方式 ・電極 ・無電圧接点 ・その他 () ②施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。 15. 映像音響設備 ・仕様詳細は別図による。
---	---

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	名称	縮尺	原図A3	設計	年月日
					三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事			検図	年月日
						電気設備工事特記仕様書(2)	NS	承認	年月日
								図番	E-02



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

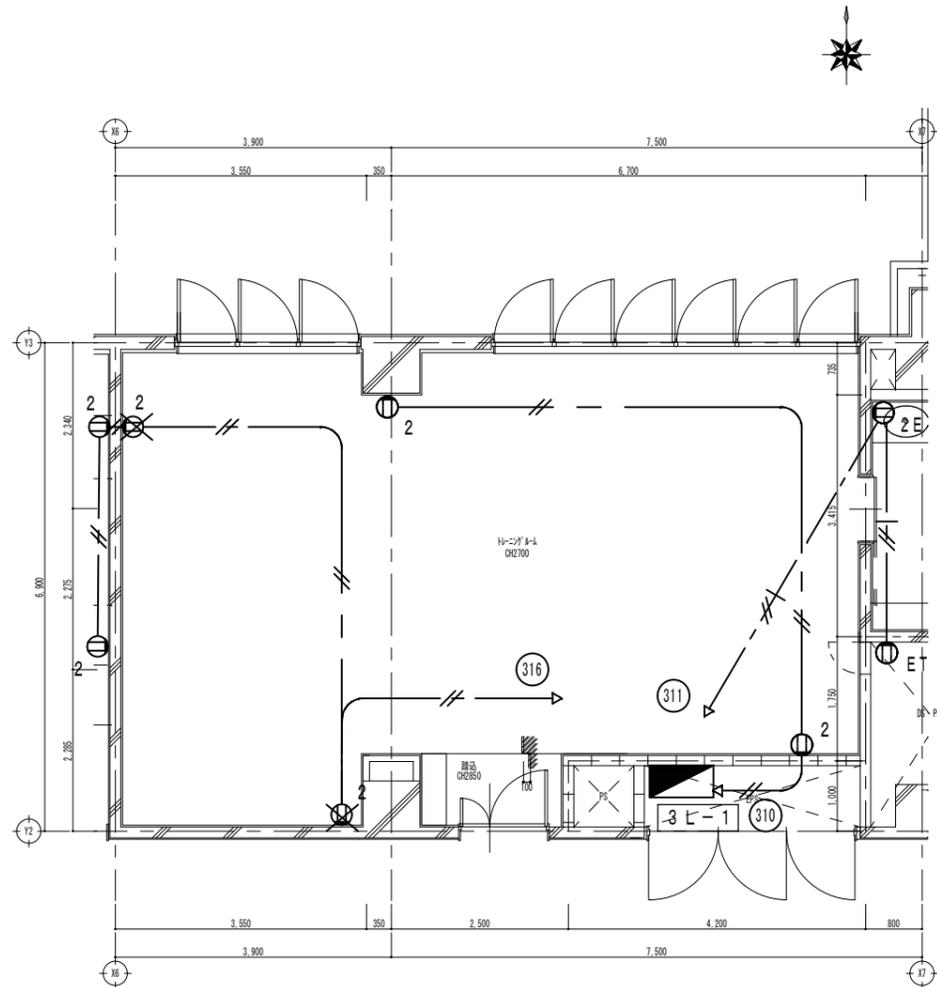
<p>16. 拡声設備 (1) 機器 (2) 増幅器 (3) 付属機器 (4) 操作装置 (5) スピーカ</p> <p>17. 誘導支援設備 (1) 設備 (2) 音声誘導装置 (3) インターホン (4) トイレ等呼出装置</p> <p>18. テレビ共同受信設備 (1) 受信放送 (2) 機器 (3) アンテナ</p> <p>19. 監視カメラ設備</p> <p>20. 駐車場管制設備</p> <p>21. 防犯・入退室管理設備</p> <p>22. 自動火災報知設備 (1) 機器 (2) 受信機 (3) 副受信機(表示装置) (4) 中継器 (5) 発信機 (6) 感知器 (7) 光警報装置</p>	<p>23. 自動閉鎖設備 (1) 機器 (2) 連動制御器 (3) 感知器 (4) 自動閉鎖装置 (5) 自動閉鎖装置</p> <p>24. 非常警報設備 (1) 設備 (2) 非常放送装置 (3) 増幅器 (4) スピーカ (5) 非常用リモコンマイク (6) 非常ベル(自動サイレンを含む) (7) ガス漏れ火災警報設備 (1) 機器 (2) 受信機 (3) 副受信機 (4) 検知器</p> <p>【中央監視制御設備】 【医療関係設備】 【構内配電線路】 (1) 配線方式 (2) 建柱 (3) 装柱機器(高圧用) (4) 装柱機器(低圧用) (5) ハンドホールマンホール (6) 鋳鉄蓋 (7) 地中ケーブル保護材料</p>	<p>【構内通信線路】 27. 構内通信線路 (1) 用途 (2) 配線方式 (3) 建柱 (4) ハンドホールマンホール</p> <p>【その他】 28. 消火器</p> <p>4. 使用資機材の適用規格 (1) 以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本産業規格(JIS規格)適合品の使用を原則とする。 ● 電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品 ● 電気用品安全法適合品 ● 耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル ● 消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの ● 第三者認証機関として(一社)日本電線工業会規格(JCS規格)への適合性検査を行い合格したもの ● 非常用照明器具 ● 建築基準法に定める国土交通大臣認定品 ● (一社)日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの ● 誘導灯 ● 登録認定機関((一社)日本電気協会(JEA誘導灯認定委員会))の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 制御盤 ● (一社)日本配電制御システム工業会規格(JSIA規格)適合品 ● 消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品 ● 登録認定機関((一財)日本消防設備安全センター(消防用設備等認定委員会))の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品 ● (一財)日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの ● 金属閉鎖形スイッチギア ● (一社)日本電機工業会規格(JEM規格)適合品 ● 高圧機器(遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器) ● (一社)電気学会電気規格調査会規格(JEC規格)適合品 ● 直流電源装置(防災電源用) ● 登録認定機関((一社)日本電気協会(JEA蓄電池設備認定委員会))の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 交流無停電電源装置 ● (一社)電気学会電気規格調査会規格(JEC規格)適合品 ● 自家発電装置(防災電源用) ● 登録認定機関((一社)日本内燃力発電設備協会)の認定を受け、認定証票(長時間形)が貼付されたもの ● 自家発電装置(防災電源用でないもの) ● (一社)日本電機工業会規格(JEM規格)適合品 ● 太陽電池モジュールの支持物 ● 電気設備の技術基準の解釈第4条第2項又は第3項の規定に適合するもの ● 電話用設備(電話交換機、電話機等) ● 登録認定機関((一財)電気通信端末機器審査協会(JATE)等)の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの ● 登録認定機関(日本消防検定協会)の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● テレビ共同受信機器 ● 優良住宅部品(BL部品)の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの ● (一社)電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの ● 自動火災報知設備 ● 登録認定機関(日本消防検定協会)の認定を受け、認定証票が貼付されたもの (2) 特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。</p>	
---	--	--	--

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	名称	縮尺	原図A 3	設計	年月日
					三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事			検図	年月日
					電気設備工事特仕仕様書(3)	NS		承認	年月日
								図番	E-03



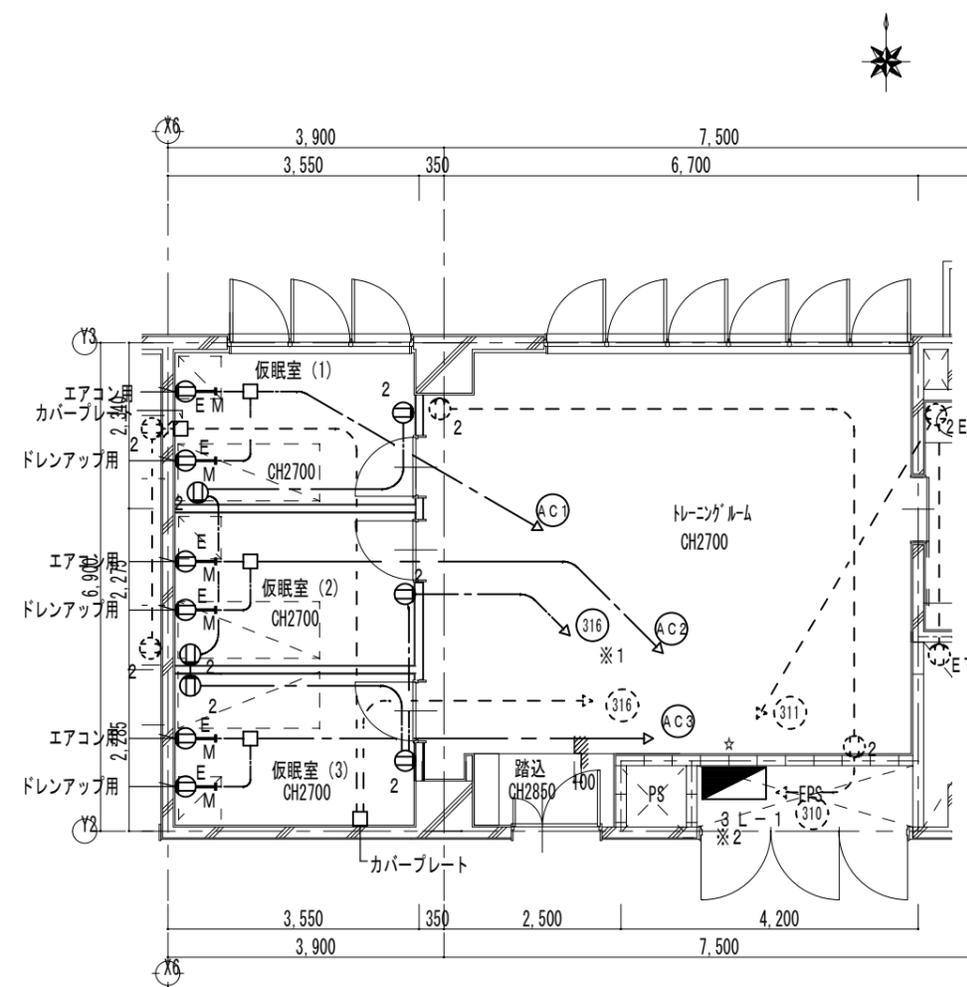
ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

改修前



- 特記事項
- 記入なき配線配管は下記とする。
 - VVF2.0-3C (1C7-ス) PF (22) 床隠べい
 - VVF2.0-2C PF (22) 床隠べい
 - ×印は、撤去を示す。
 - 凡例
 - ⊖₂ 埋込コンセント 2P15A x 2
 - ⊖_{2E} 埋込コンセント 接地付 2P15A x 2
 - ⊖_{ET} 埋込コンセント 接地端子付 2P15A x 1

改修後



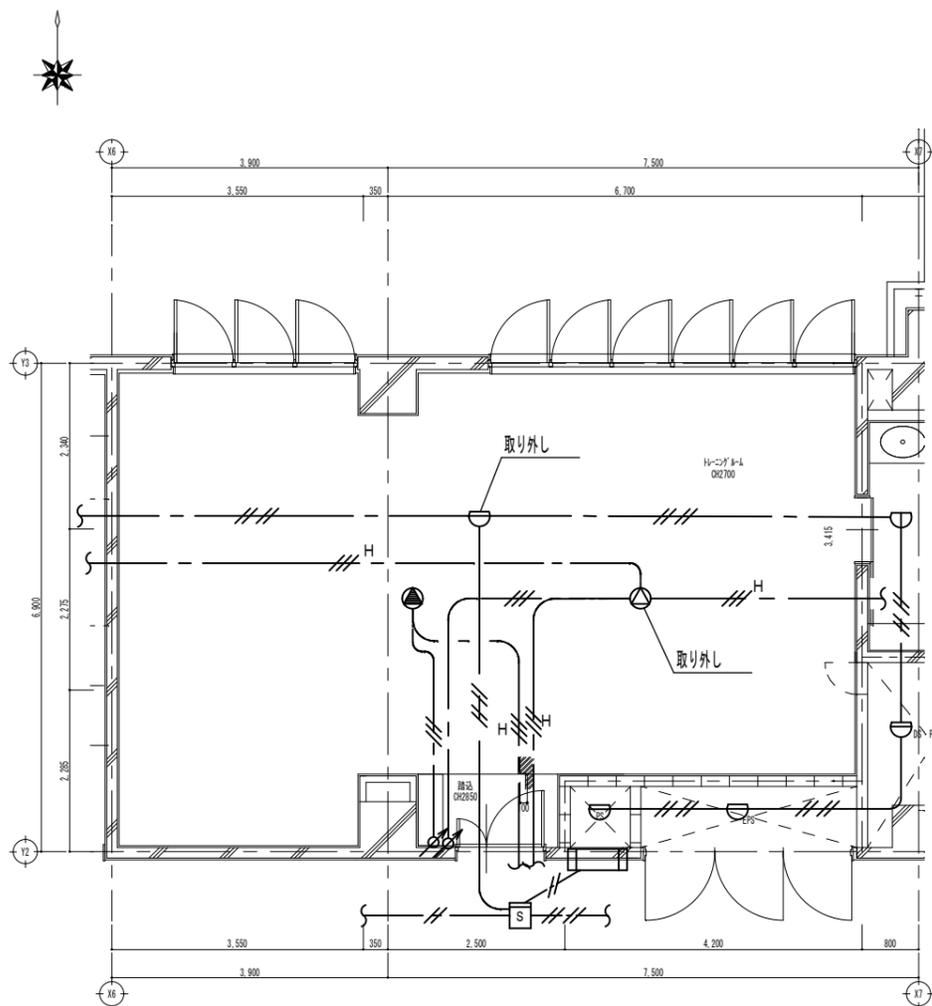
- 特記事項
- 記入なき配線配管は下記とする。
 - VVF2.0-3C (1C7-ス) 天井ころがし
 - 壁面露出部メタルモール
 - 点線は既設配線既設のままを示す。
 - ※1; 3階-1の既設回路にダブル結線とする。
 - ※2; 既設3階-1にELCB2P50/20A x 3 増設し、エアコン回路を接続
 - 凡例
 - ⊖₂ 埋込コンセント 2P15A x 2
 - ⊖_E 埋込コンセント 接地付 2P15A x 1
 - ☆ 壁貫通処理

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	名称	縮尺	原図 A 3	設計	年月日
					三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事			検図	年月日
					トレーニングルーム コンセント設備図	1/100		承認	年月日
								図番	E-05



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

改修前

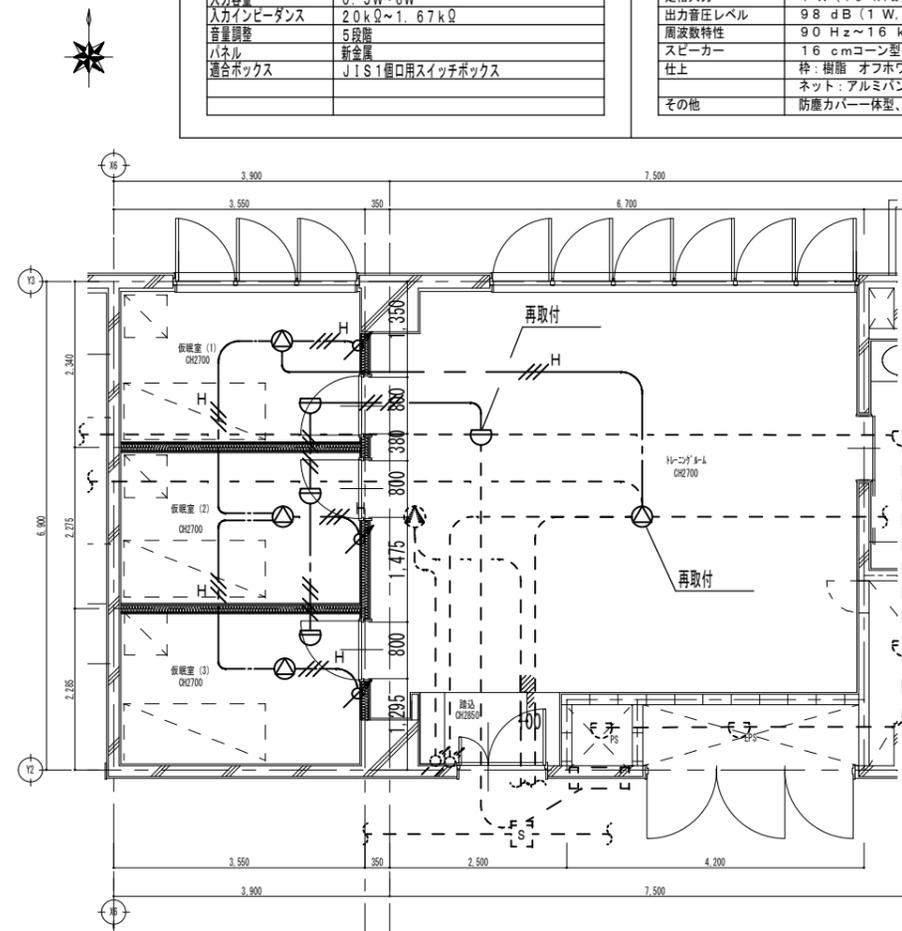


——— 特記事項 ———

1、記入なき配管配線は下記とする。 2. 凡例

———	AE1. 2-2C 天井こがし	□	機器収納箱
———	AE1. 2-4C 天井こがし	○	差動式スポット型熱感知器 2種 露出
———	HP1. 2-3C 天井こがし	○	定温式スポット型熱感知器 防水1種 露出
□ S	光電式スポット型煙感知器 2種 露出	○	一般天井埋込スピーカ
○	一般天井埋込スピーカ	○	指令天井埋込スピーカ
○	指令天井埋込スピーカ	○	アッテネータ

改修後



——— 特記事項 ———

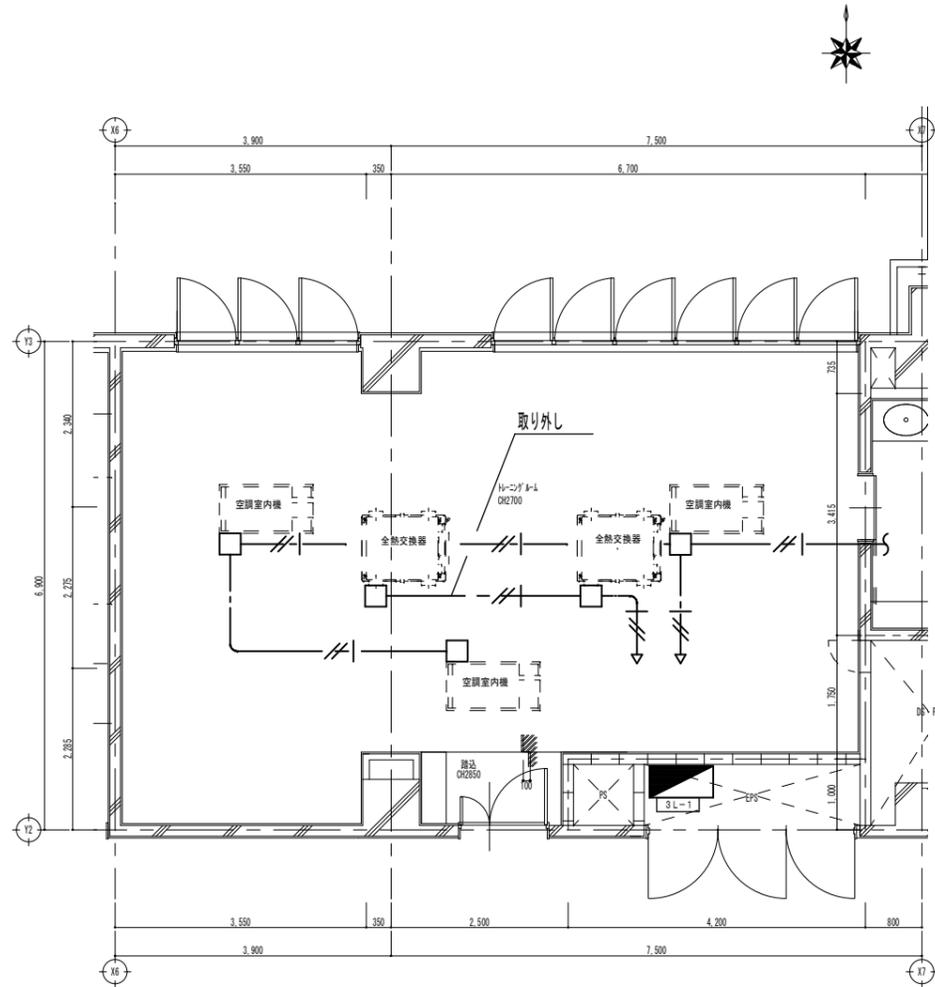
1、記入なき配管配線は下記とする。 4. 凡例

———	AE1. 2-4C 天井こがし	□	機器収納箱
———	HP1. 2-3C 天井こがし	○	差動式スポット型熱感知器 2種 露出
○	定温式スポット型熱感知器 防水1種 露出	○	光電式スポット型煙感知器 2種 露出
○	一般天井埋込スピーカ (姿図参照)	○	指令天井埋込スピーカ
○	指令天井埋込スピーカ	○	アッテネータ

2、点線は既設のままを示す。

アッテネータ	V-1S	一般用天井埋込スピーカ	SC6Hi-1V0																						
<table border="1"> <tr><td>入力容量</td><td>0.5W~6W</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>20kΩ~1.67kΩ</td></tr> <tr><td>音量調整</td><td>5段階</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>新金属</td></tr> <tr><td>適合ボックス</td><td>JIS1個口用スイッチボックス</td></tr> </table>	入力容量	0.5W~6W	入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ	音量調整	5段階	パネル	新金属	適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス	<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>1W (10kVA), 0.5W (20kVA)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>98dB (1W, 1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>90Hz~16kHz</td></tr> <tr><td>スピーカ</td><td>16cmコーン型</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>枠: 樹脂 オフホワイト</td></tr> <tr><td>その他</td><td>ネット: アルミバンディング オフホワイト</td></tr> <tr><td></td><td>防塵カバー一体型、音量調節5段切換</td></tr> </table>	定格入力	1W (10kVA), 0.5W (20kVA)	出力音圧レベル	98dB (1W, 1m)	周波数特性	90Hz~16kHz	スピーカ	16cmコーン型	仕上	枠: 樹脂 オフホワイト	その他	ネット: アルミバンディング オフホワイト		防塵カバー一体型、音量調節5段切換
入力容量	0.5W~6W																								
入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ																								
音量調整	5段階																								
パネル	新金属																								
適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス																								
定格入力	1W (10kVA), 0.5W (20kVA)																								
出力音圧レベル	98dB (1W, 1m)																								
周波数特性	90Hz~16kHz																								
スピーカ	16cmコーン型																								
仕上	枠: 樹脂 オフホワイト																								
その他	ネット: アルミバンディング オフホワイト																								
	防塵カバー一体型、音量調節5段切換																								

改修前

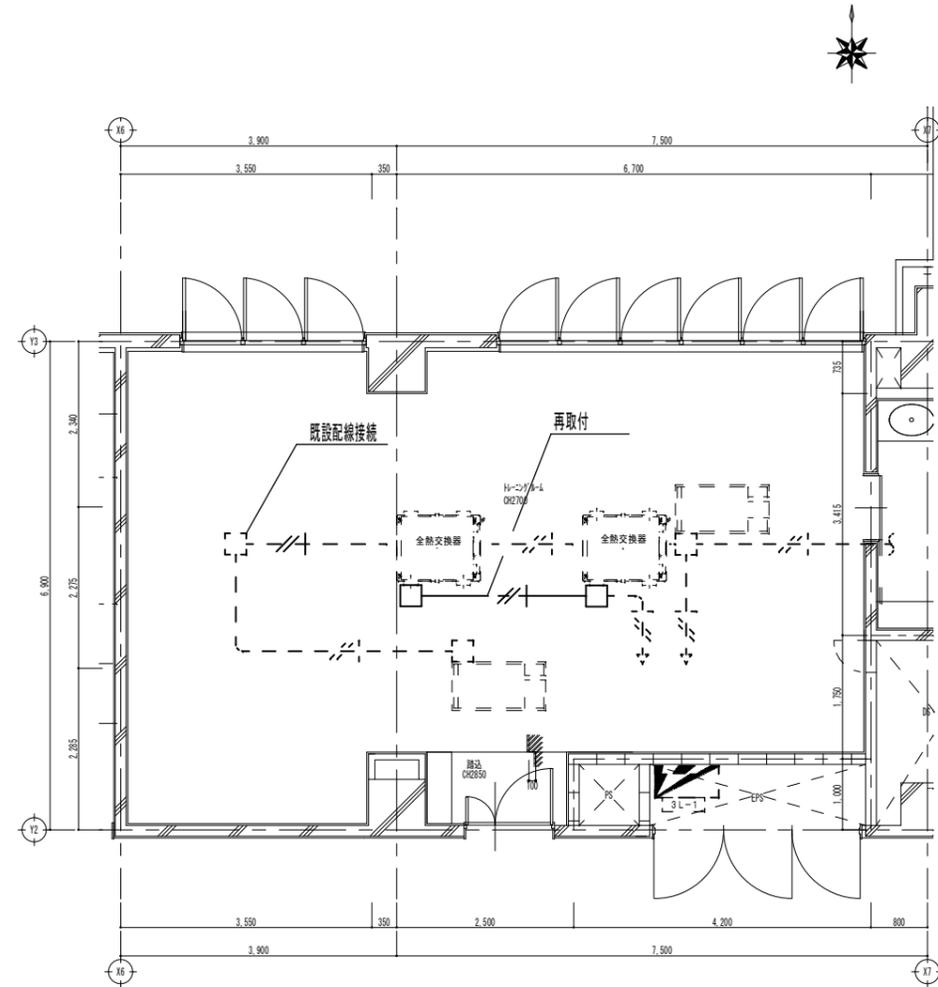


特記事項

1、記入なき配線配管は下記とする。

—— VVF2. 0-3C (1C7-ス) PF (22) 天井ころがし

改修後



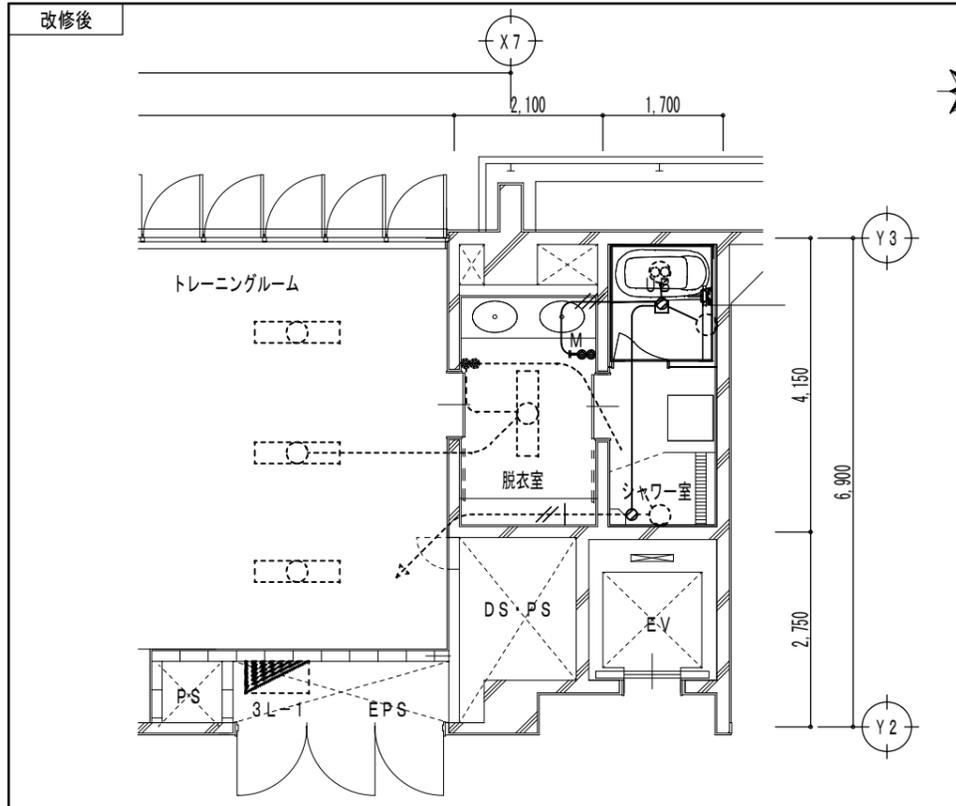
特記事項

1、記入なき配線配管は下記とする。

—— VVF2. 0-3C (1C7-ス) PF (22) 天井ころがし

2、点線は既設のままを示す。

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	名称	縮尺	原図 A 3	 ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation	設計	年月日
					三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/100			検図	年月日
					トレーニングルーム			承認	年月日	
					空調電源設備図			図番	E-07	

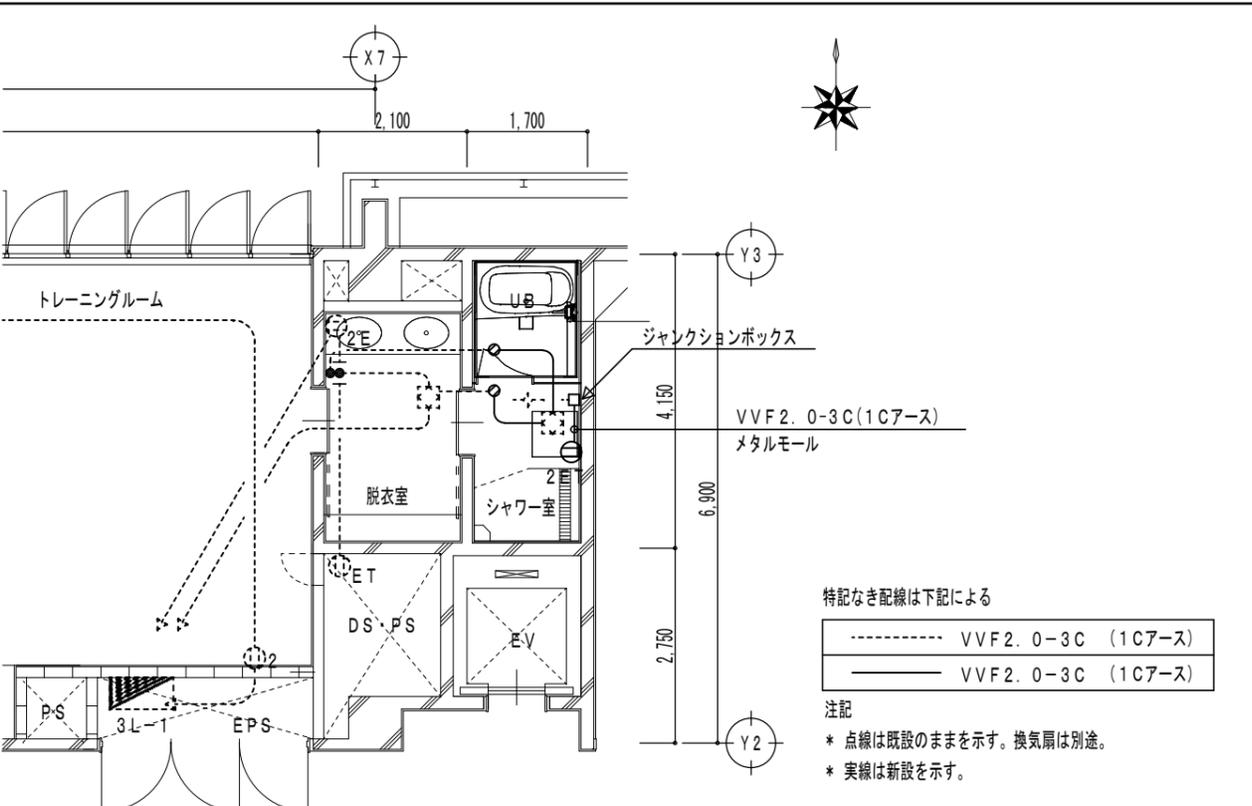


平面詳細図 (改修後) S=1/100

特記なき配線は下記による

---+---	VVF2. 0-3C (1Cアース)
-----	VVF1. 6-2C
-----	VVF1. 6-3C (1Cアース)
////	VVF1. 6-3C
—M—	壁面露出部メタルモール

注記
 * 点線は既設のままを示す。換気扇は別途。
 * 実線は新設を示す。

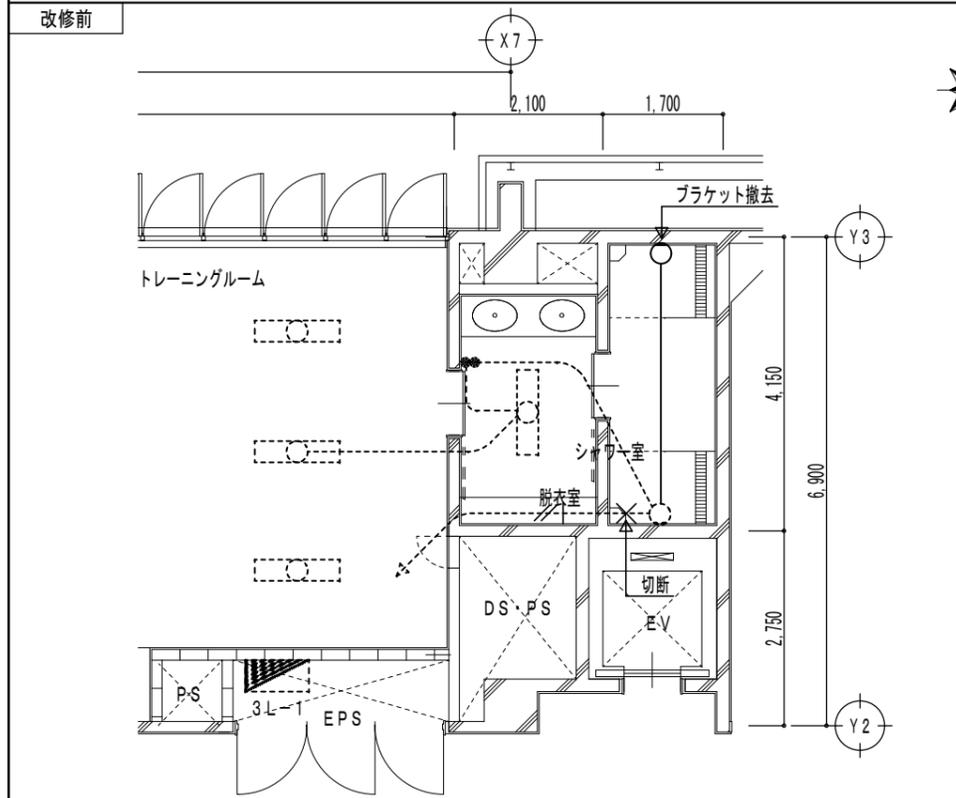


平面詳細図 (改修後) S=1/100

特記なき配線は下記による

-----	VVF2. 0-3C (1Cアース)
-----	VVF2. 0-3C (1Cアース)

注記
 * 点線は既設のままを示す。換気扇は別途。
 * 実線は新設を示す。

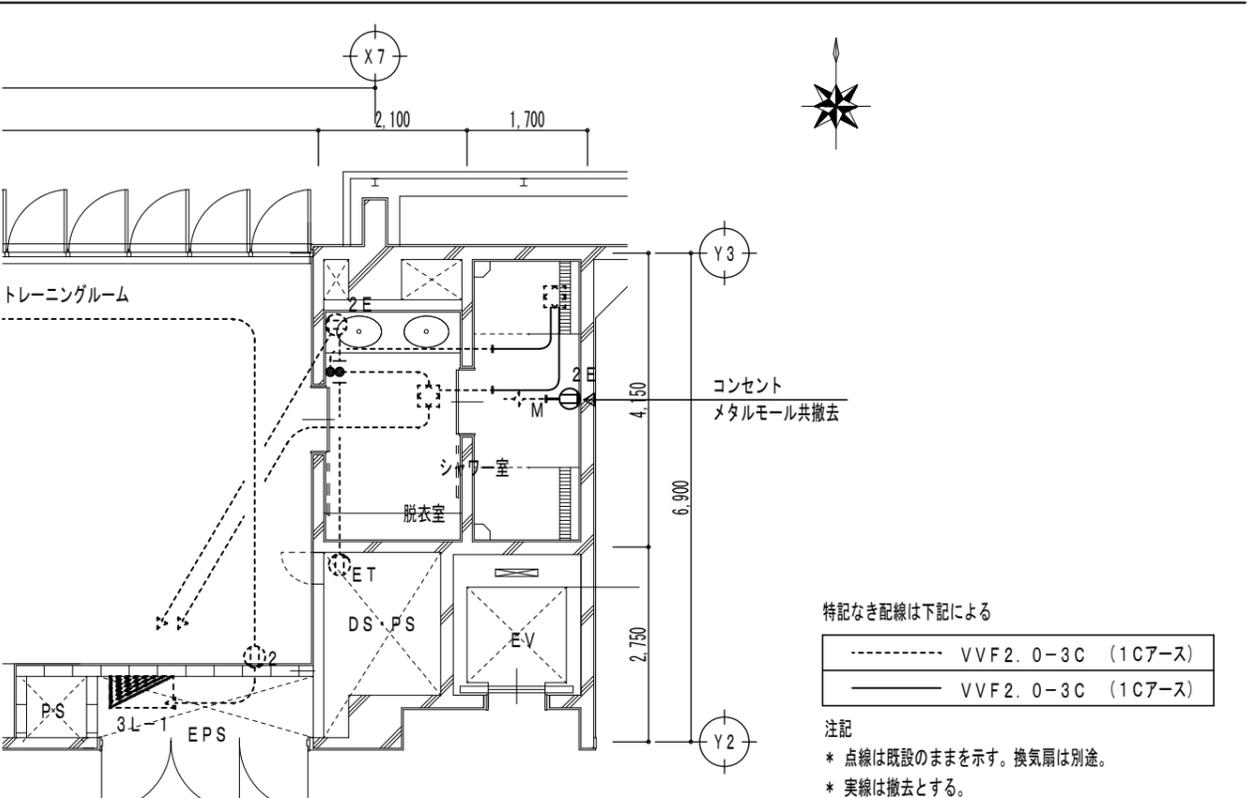


平面詳細図 (改修前) S=1/100

特記なき配線は下記による

-----	VVF1. 6-2C
-----	VVF1. 6-3C (1Cアース)

注記
 * 点線は既設のままを示す。
 * 実線は撤去とする。



平面詳細図 (改修前) S=1/100

特記なき配線は下記による

-----	VVF2. 0-3C (1Cアース)
-----	VVF2. 0-3C (1Cアース)

注記
 * 点線は既設のままを示す。換気扇は別途。
 * 実線は撤去とする。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	名称	縮尺	原図A3	設計	年月日
					三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/100		検図	年月日
					シャワー室 電灯・コンセント設備図			承認	年月日
								図番	E-08

ビーム計画設計株式会社
 Beam Planning Corporation

※ 横走り管の吊り間隔

銅管	100A以下 125A以上	2m以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下 100A以上	1m以下 2m以下
鉄管	標準図による	

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
銅管	-	50A~100A	125A~
鉄管	-	-	-
ビニル管 耐火二層管 銅管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔
 基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
 形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

- (2) ダクト工事
- 矩形ダクト □ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 □ ステンレス鋼板 JIS G4305
 工法 □ アングルフランジ工法
 □ 共板フランジ工法
 □ スライドオンフランジ工法
 形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
 丸ダクト □ スパイラルダクト
 ■ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

- (3) 保温塗装工事
- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K
 (屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
- 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 ■ 給湯管 □ 消火管 (露出部)
 □ 蒸気管 (往) □ 蒸気管 (還) □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管
 (屋外等)
 □ 給湯管 (70℃以上) □ 温水管 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管
 □ 冷媒管 □ □ □ □
- ロックウール保温材 保温板、保温帯、フランクネット
 (防火区画貫通部等) 1号 JIS A 9504
 □ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 温水管
 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 □ 消火管
- ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号
 (屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号
 □ 給水管 □ 排水管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷水管 (2~4℃)
 □ プライン管 □ □ □ □
 (屋外等)
 □ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 冷水・冷温水管
 □ プライン管 □ 消火管 □ □ □
- 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種
 (露出)
 □ 給水管 □ 排水管 □ 通気管 □ ドレン管
 □ ガス管 □ 消火管 □ 油管 □ 冷却水管
 □ ダクト (亜鉛鉄板製) □ ダクト (鋼板製)
- さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種
 (露出)
 □ 蒸気管 (往) □ ダクト (鋼板製)
- アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)
 下塗りは錆止めペイント
 □ 蒸気管 (還)

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	50mm	75mm
ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)	25mm	50mm	75mm
ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)	50mm	75mm	100mm
煙道(ロックウール)	75mm	100mm	125mm

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&3 57&02仕上
天井内・P S内	7&3 57&02保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	7&3 57&02仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ピット内)の仕様を防水テープ巻きに読み替える。
 ※ 2) サヤ管工法: 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
 ※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	R 125A/7&4	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	R 125A/7&4	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	R 125A/7&4	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	R 125A/7&4	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	R 125A/7&4	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	R 125A/7&4	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
 □ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー亜鉛鉄板(屋内)
温水・膨張・温水					
貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ					カラー亜鉛鉄板(屋内)
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
円形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
サブライチャンパー	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
消音チャンパー、エルボ	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
排煙ダクト長方形	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
排煙ダクト円形	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
 ※ 2) 煙道フランクネットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWAS02による防錆処理を施した平ラシ0号で外面補強したものを使用。
 ※ 3) 網亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

- 4) 施工
- ダクト保温施工範囲
1. SA □ 保温あり ■ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. EA □ 保温あり ■ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
3. RA □ 保温あり ■ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. OA □ 保温あり ■ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
- チャンパー内貼施工 □ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()

- (4) スリーブ工事
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚さを含む)より40mm程度大(=2サイズUP)なるものとする。
 箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト)とする。
 2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
 3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

- 共通事項
- 1) 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
 - 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
 - 3) 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
 - 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
 - 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
 - 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す。もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
 - 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
 - 8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
 - 9) 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設管を施工すること。
 - 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
 - 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
 - 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
 - 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
 - 14) 屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
 - 15) 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
 - 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊産の取り付けを行うこと。
 - 17) 送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。

版	年月日	設変番号	変更事項	名称	図名	縮尺	原図A3	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	機械設備工事特記仕様書(2)	NO SCALE		検図	***	年月日
								承認	***	年月日
								図番		M-02



ビーム計画設計株式会社
 Beam Planning Corporation

凡例	
図示記号	名称
————	撤去・新設配管
-----	既設配管
- -	既設配管 切断接続部分
— R —	冷媒管
— — —	給水管
— D —	ドレン管
— OA —	OAダクト
— EA —	EAダクト
— SA —	SAダクト
— RA —	RAダクト
□	ワイヤードリモコン
★	コア抜き

冷媒管リスト			
記号	液管	ガス管	室内外連絡線
①	φ6.4	φ9.5	VVF2.0-3C
②	φ6.35	φ12.7	
③	φ9.52	φ15.88	
④	φ12.7	φ19.05	
⑤	φ12.7	φ25.4	

空調設備工事要領	
1.	空調室内外機を新設する。
2.	冷媒管、室内外連絡線は新設とする。
3.	ドレン管は既設配管に接続する。
4.	室外機はSUS製ホルダーにて固定、ワットにて締付けること。
5.	防振ゴムシート (t=10以上) を敷くこと。
6.	室内外機は耐震振れ止めを施す事。

※外壁に石綿が含有しているとみなすため、適正に処理および処分を行うこと。

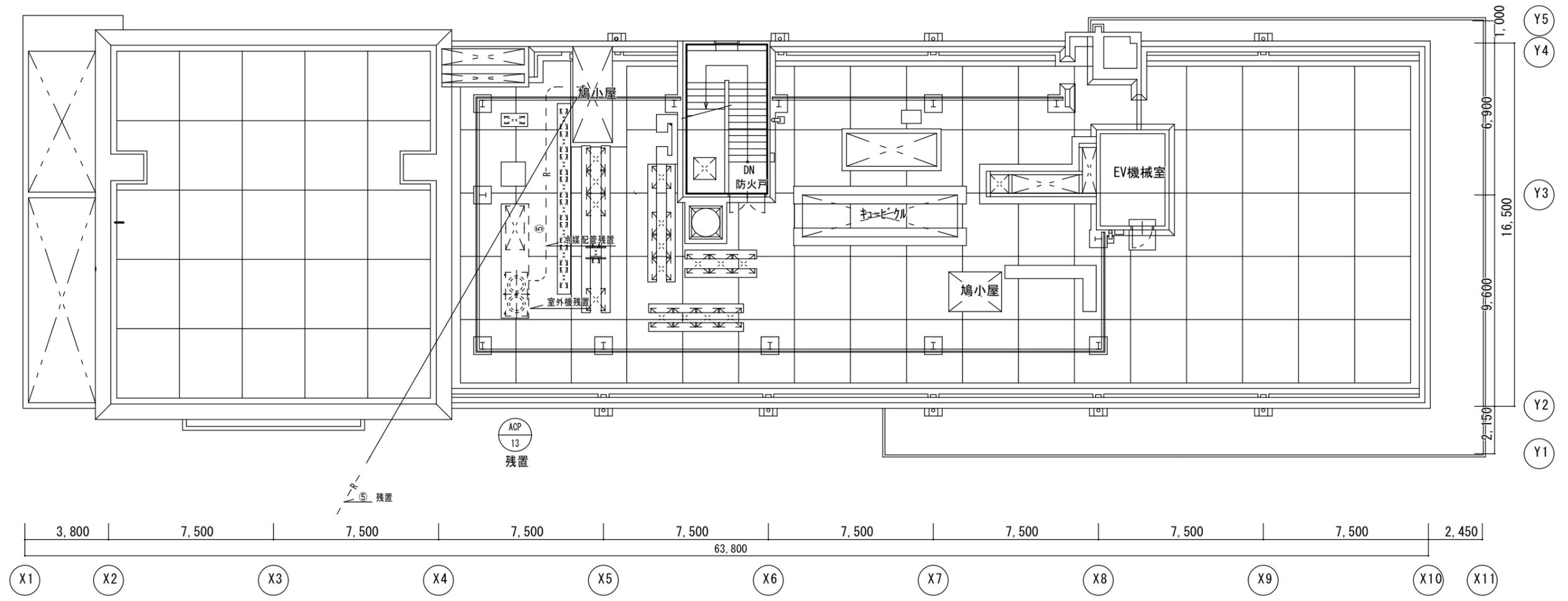
空調機器表 空冷ヒートポンプ式					
記号	形式・名称	仕様	台数	設置場所	備考
RAC-1	ルームエアコン	冷房能力：2.2kW 暖房能力：2.5kW 単相100V	3	仮眠室	新設
	壁掛型	室外機：既製コンクリート架台			
		ワイヤレスリモコン、ドレンアップキット			
		リモコンホルダー、他付属品一式、Kh=0.6			
ACP-13	ビル用マルチエアコン	冷房能力：22.4kW 暖房能力：25.0kW	1	屋上	残置
	室外機	3相200v			
ACP-13A	ビル用マルチエアコン	冷房能力：5.6kW	3	仮眠室	操作線共撤去×1台
	室内機 天井埋込型	単相200v			残置×2台
ACP-13B	ビル用マルチエアコン	冷房能力：2.8kW	1	仮眠室	残置
	室内機 天井埋込型	単相200v			
特記事項					
運転性能、能力はJIS条件による。					
空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。					
機器は同等品以上とする。また、グリーン購入法基準を適用するものとする。					
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。					

版	年月日	図番	変更事項	名称
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事
				図名 空調換気設備 凡例・機器表
				縮尺 原図A3 NO SCALE



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

設計	***	年月日	
検図	***	年月日	
承認	***	年月日	
図番	M-03		

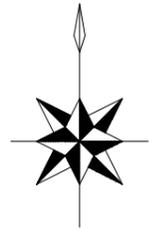


空調設備 R階平面図 S=1/200

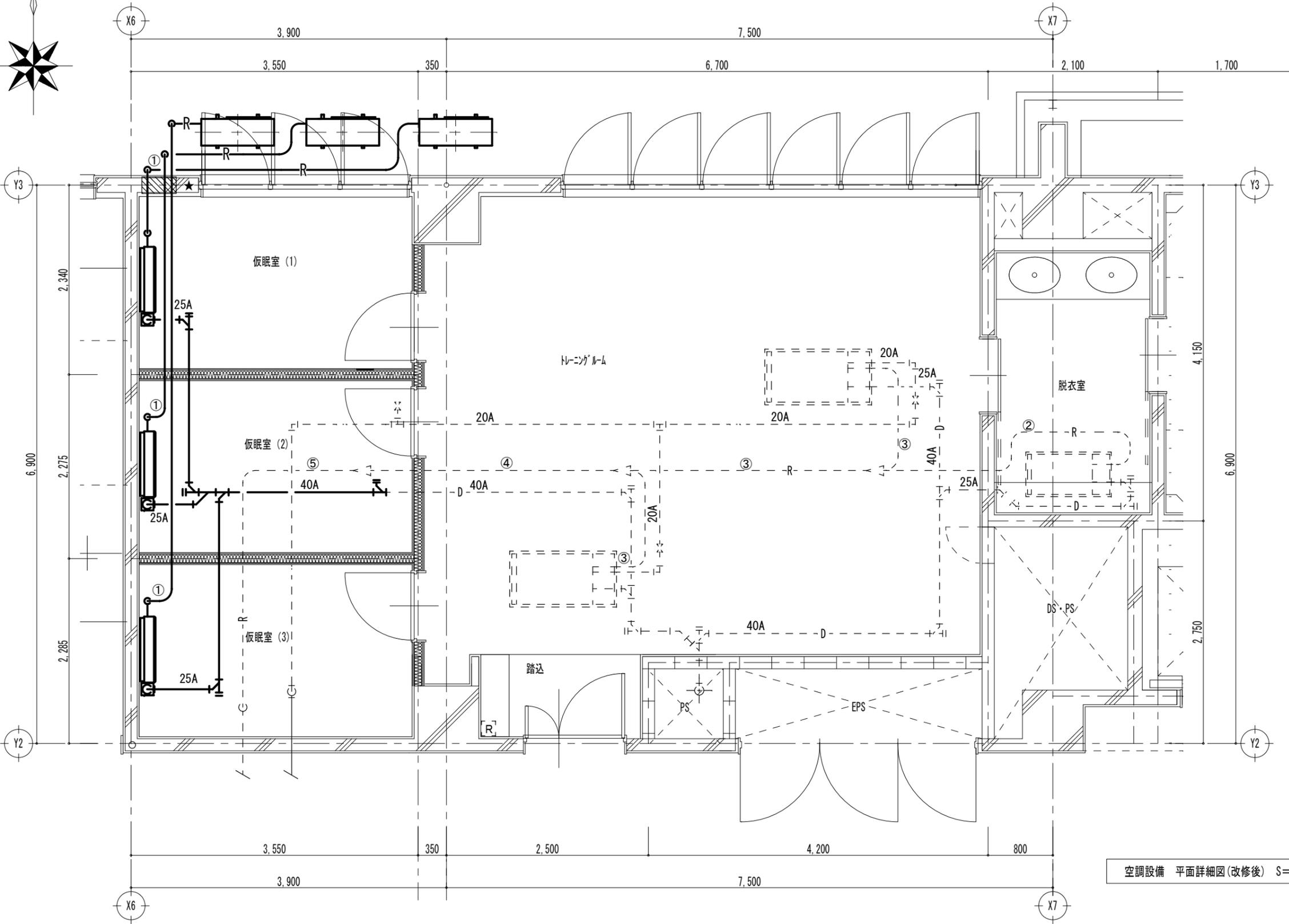
版	年月日	設変番号	変更事項	名称	図名	縮尺	原図A3	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	空調設備 R階平面図	1/200		検図	***	年月日
								承認	***	年月日
								図番		M-05



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



RAC
1 x 3

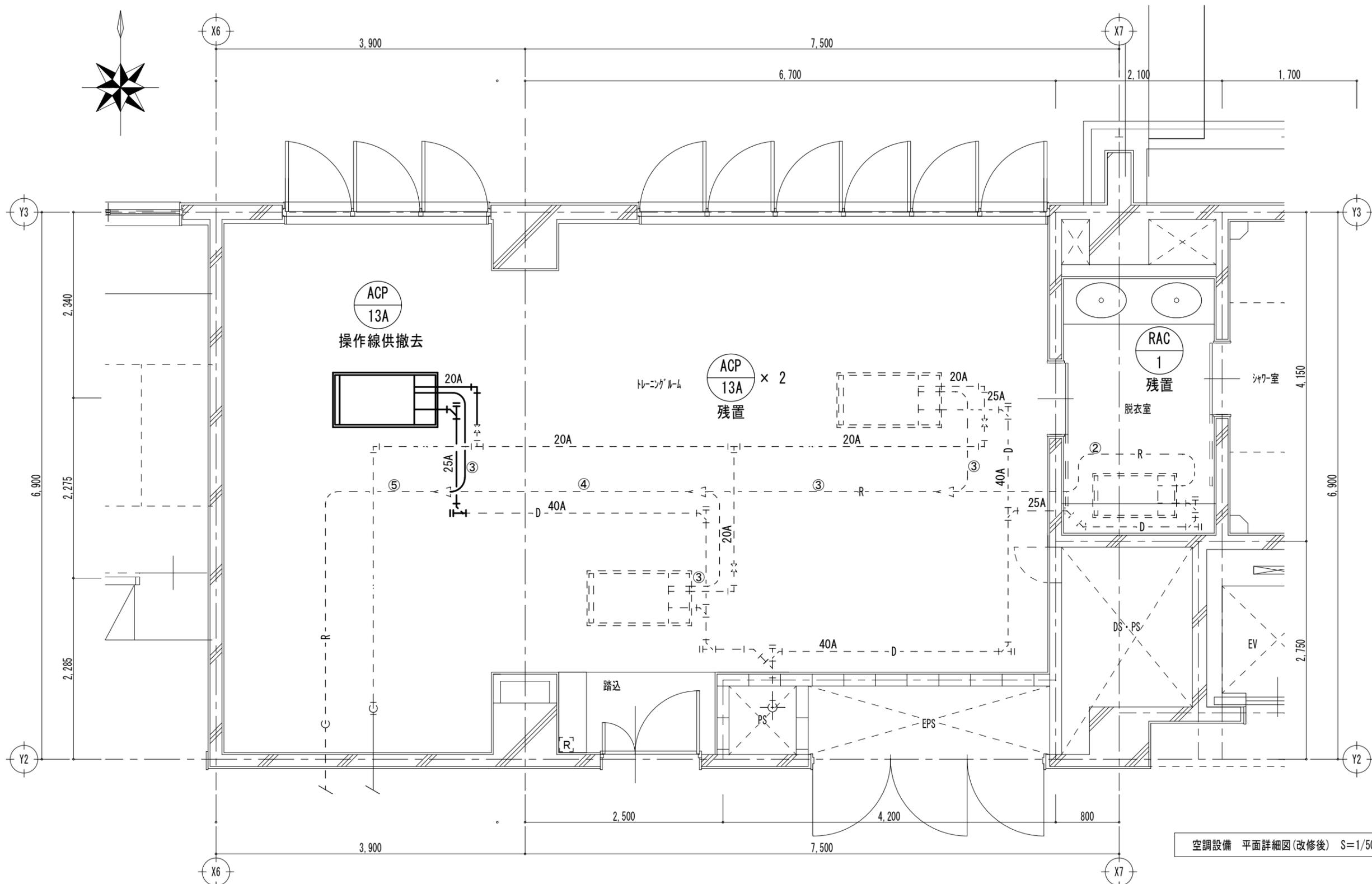


空調設備 平面詳細図(改修後) S=1/50

版	年月日	設変番号	変更事項	名称	図名	縮尺	原図A3	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	空調設備 平面詳細図(改修後)	1/50		検図	***	年月日
								承認	***	年月日
								図番		M-06



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



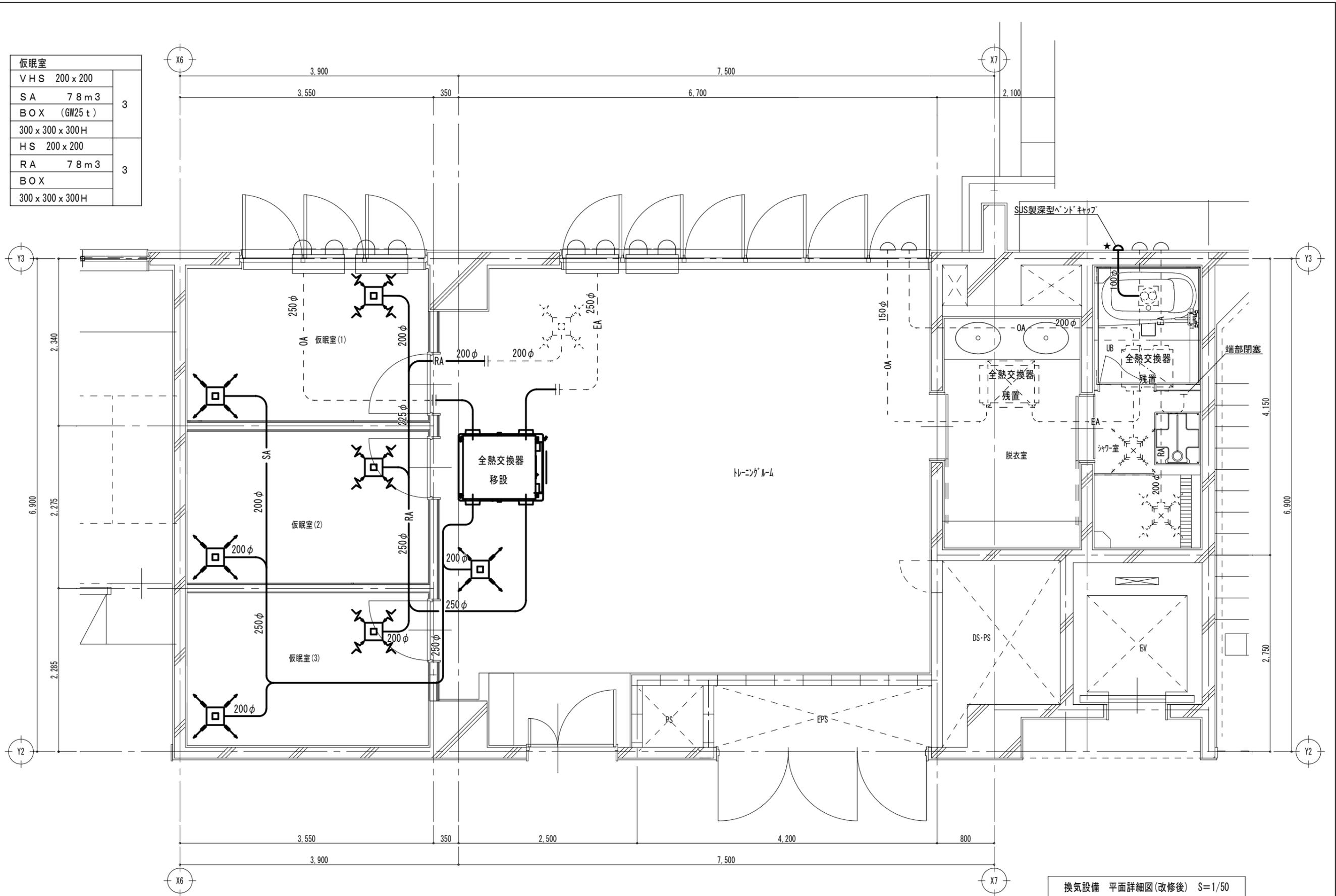
空調設備 平面詳細図(改修後) S=1/50

版	年月日	設変番号	変更事項	名称	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	検図	***	年月日
				図名	承認	***	年月日
				空調設備 平面詳細図(改修前)	図番		M-07
				縮尺	原図A3		
					1/50		



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

仮眠室	
VHS 200 x 200	3
SA 78 m ³	
BOX (GW25 t)	
300 x 300 x 300H	3
HS 200 x 200	
RA 78 m ³	
BOX	3
300 x 300 x 300H	



換気設備 平面詳細図(改修後) S=1/50

版	年月日	設変番号	変更事項

名称	
三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	
図名	縮尺
換気設備 平面詳細図(改修後)	原図A3 1/50

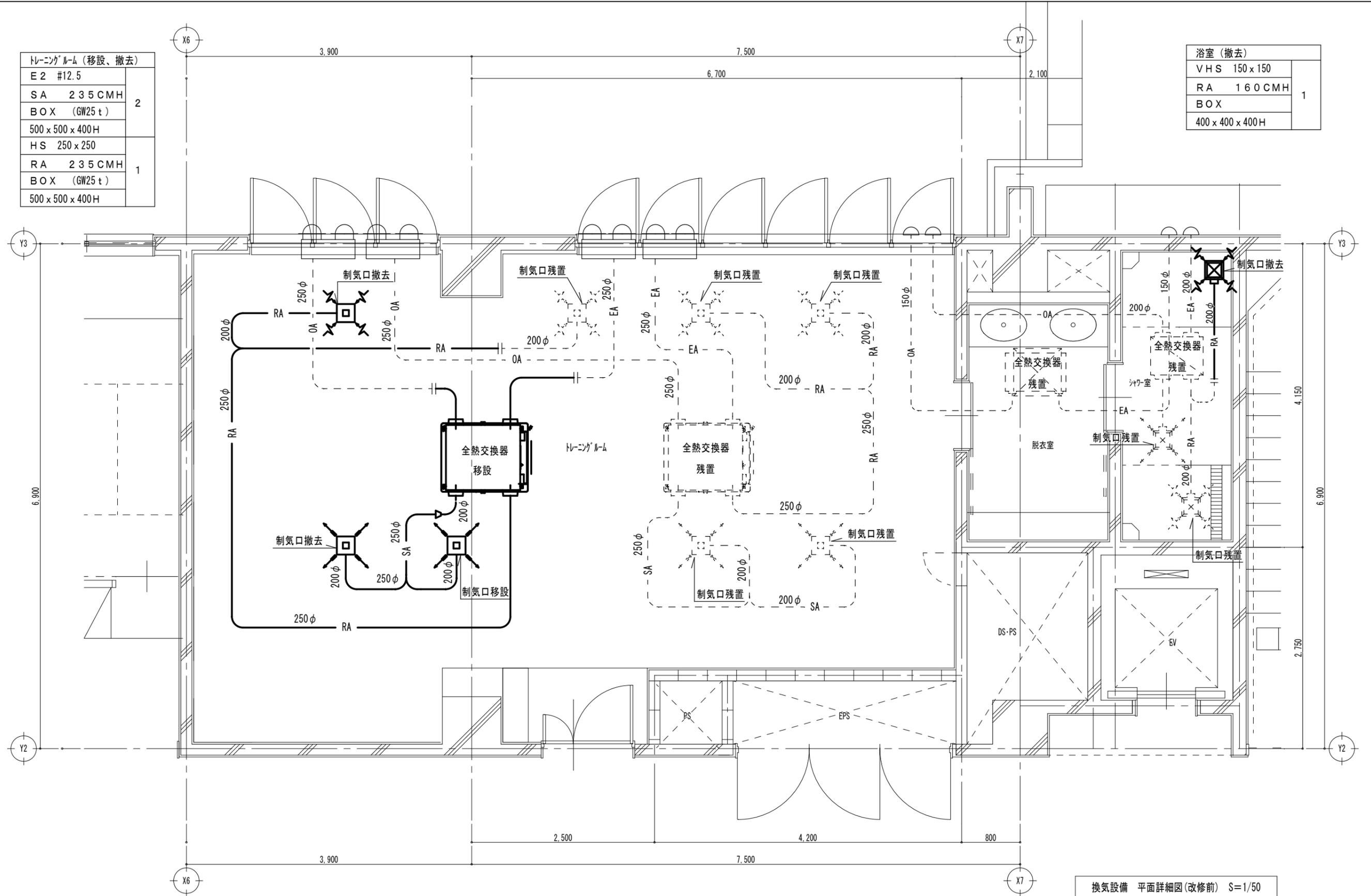


ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

設計	***	年月日	
検図	***	年月日	
承認	***	年月日	
図番	M-08		

トレーニングルーム (移設、撤去)	
E2 #12.5	2
SA 235CMH	
BOX (GW25t)	
500x500x400H	
HS 250x250	1
RA 235CMH	
BOX (GW25t)	
500x500x400H	

浴室 (撤去)	
VHS 150x150	1
RA 160CMH	
BOX	
400x400x400H	



換気設備 平面詳細図(改修前) S=1/50

版	年月日	設変番号	変更事項

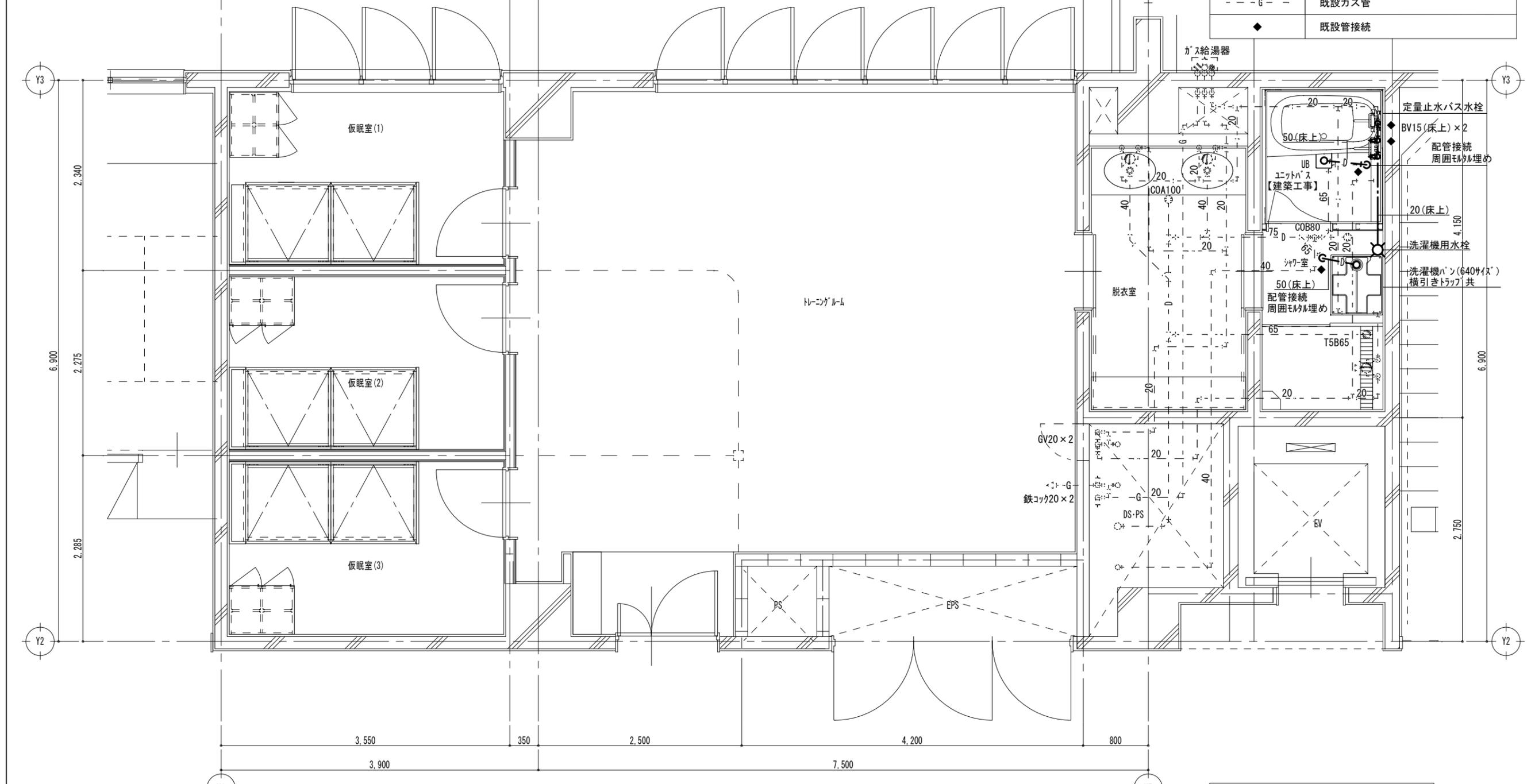
名称	
三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	
図名	縮尺 原図A3
換気設備 平面詳細図(改修前)	1/50


ビーム計画設計株式会社
 Beam Planning Corporation

設計	***	年月日	
検図	***	年月日	
承認	***	年月日	
図番	M-09		

衛生器具表			
	TOTO	LIXIL	数量
定量止水バス水栓	TMF47ARRA, 他一式	BF-7340T, 他一式	1
洗濯機用水栓	TW11R	LF-WJ50KQA	1
洗濯機パン	PWP640N2W, PJ2008NW	PF-6464AC/FW-1, TP-52/FW1	1

— — — — —	【新設】給水管
— D — — —	【新設】排水管
— — — —	【新設】給湯管
- - - - -	既設給水管
- - D - -	既設排水管
- - - - -	既設通気管
- - - - -	既設給湯管
- - - G - -	既設ガス管
◆	既設管接続



衛生設備 平面詳細図(改修後) S=1/50

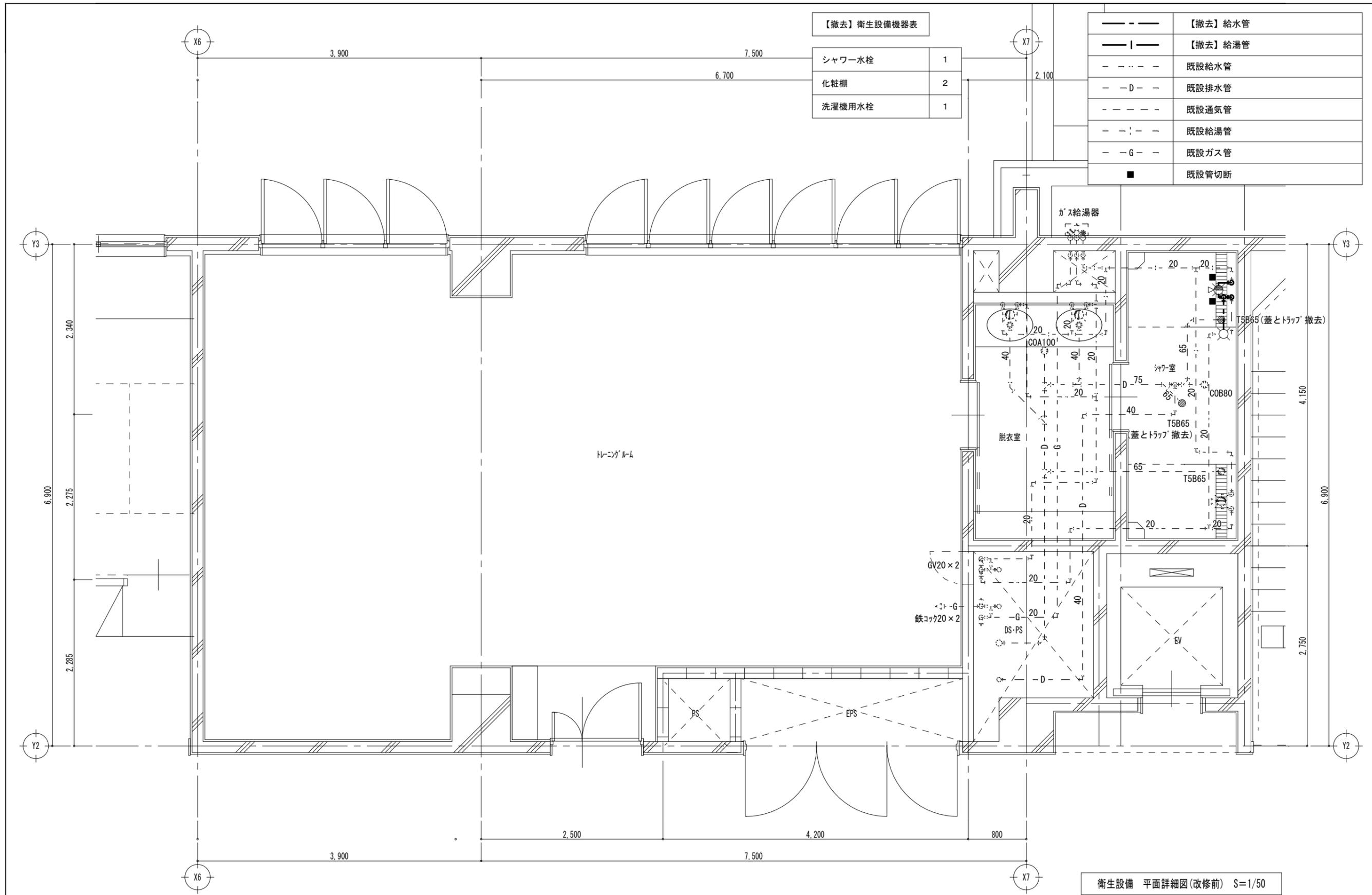
版	年月日	設変番号	変更事項	名称	縮尺	原図A3	設計	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/50		***	年月日
				衛生設備 平面詳細図(改修後)	1/50		***	年月日
							***	年月日
							図番	M-10


ビーム計画設計株式会社
 Beam Planning Corporation

【撤去】衛生設備機器表

シャワー水栓	1
化粧棚	2
洗濯機用水栓	1

---	【撤去】給水管
— —	【撤去】給湯管
- - - -	既設給水管
- - D - -	既設排水管
- - - -	既設通気管
- - · - -	既設給湯管
- - G - -	既設ガス管
■	既設管切断



衛生設備 平面詳細図(改修前) S=1/50

版	年月日	設変番号	変更事項	名称	縮尺	原図A3	設計	***	年月日
				三重中央消防指令センター総合整備に伴う津市消防本部改修工事	1/50		検図	***	年月日
				図名 衛生設備 平面詳細図(改修前)			承認	***	年月日
							図番		M-11

